

平成27年度国庫補助事業  
障がい者のスポーツ環境整備に関する  
ガイドライン策定のための調査研究事業  
(2年間のまとめ)

報 告 書

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

# 目 次

|     |                                   |    |
|-----|-----------------------------------|----|
| I   | はじめに .....                        | 1  |
| II  | 事業の概要 .....                       | 5  |
|     | 1 事業の背景と目的                        |    |
|     | 2 事業内容                            |    |
|     | 3 事業実施体制                          |    |
|     | 4 報告の要旨                           |    |
| III | ガイドライン .....                      | 15 |
|     | ～障がい者のスポーツ環境づくりガイドライン～            |    |
|     | 1 策定にあたって                         |    |
|     | 2 ガイドラインの内容                       |    |
|     | （1）行政に期待すること                      |    |
|     | （2）スポーツ施設に期待すること                  |    |
|     | （3）スポーツ・レクリエーション団体、スポーツ指導者に期待すること |    |
|     | （4）福祉関係者・団体に期待すること                |    |
| IV  | 資 料 .....                         | 27 |
|     | 1 調査結果                            |    |
|     | （1）公共スポーツ施設に関する調査                 |    |
|     | （2）障がい者スポーツセンター施設管理者への聞き取り調査      |    |
|     | （3）障がい者スポーツセンター 利用者簡易アンケート        |    |
|     | （4）障がい者スポーツ指導者に関する調査              |    |
|     | 2 調査票                             |    |
|     | （1）公共スポーツ施設に関する調査                 |    |
|     | （2）障がい者スポーツセンター 利用者簡易アンケート        |    |
|     | （3）障がい者スポーツ指導者に関する調査              |    |

## ■おことわり

本報告書では、「障害」と「障がい」の二つの言葉を使っています。

法律や組織の名称等は、現在使われているものを使用しましたが、広く障害者を指す場合には「障がい」を使用しました。医学的な記述のなかで使われる病名等は、従来どおりの表記にしています。



## I はじめに

平成 23 年 8 月に施行された「スポーツ基本法」では、第 2 条（基本理念）に、「スポーツは、障害者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、障害の種類及び程度に応じ必要な配慮をしつつ推進されなければならない。」とあります。また、第 12 条（スポーツ施設の整備等）第 2 項に、「前項の規定によりスポーツ施設を整備するに当たっては、当該スポーツ施設の利用の実態等に応じて、安全の確保を図るとともに、障害者等の利便性の向上を図るよう努めるものとする。」と明記されています。

スポーツ基本法やスポーツ推進計画の策定を受けて、都道府県では、障がい者のスポーツを含めたスポーツ推進計画の策定が進んできており、地域での障がい者のスポーツ参加機会も徐々にではあるが広がりつつあります。

障がい者が日常的にスポーツを行うためには、限られた地域にある障がい者スポーツセンターだけでは、十分なスポーツ活動を保障することができません。

障がい者が、日常的にスポーツに親しむためには、障がい者が暮らす身近な地域におけるスポーツ環境の整備が必要であり、そのためには地域にある公共スポーツ施設を中心に、市町村レベルで行政やスポーツ施設関係者、指導者などの理解を得ながら推進することが大切であると考えられます。

このようなことから、平成 26 年度から 2 年間の予定で「障がい者のスポーツ環境整備に関するガイドライン策定のための調査研究事業」を実施しました。

委員には、市区町村スポーツ行政管理者、日本体育施設協会、公益財団法人笹川スポーツ財団、地域の障がい者スポーツセンター、日本障がい者スポーツ協会技術委員会の代表者による委員会を組織し、それぞれの活動で得た情報を持ち寄りながら公共スポーツ施設や障がい者スポーツ施設の現況についての情報交換を行い、地域の実態の把握や調査項目の抽出、現況調査とその結果を踏まえてガイドラインを策定しました。

本報告を参考にいただき、障がい者が、安全で安心して身近な地域でスポーツに親しむことができるような環境整備にお役立て頂ければ幸いです。

本調査にあたりご協力いただいた関係各位に感謝申し上げますとともに、今後とも地域における障がい者スポーツの推進について必要な情報およびご助言を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 3 月

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

障がい者のスポーツ環境整備に関するガイドライン策定のための調査研究事業

委員長 大久保 春美



## Ⅱ 事業の概要



## Ⅱ 事業の概要

### 1 事業の背景と目的

スポーツ基本法の制定やスポーツ基本計画の策定を受けて、都道府県では、障がい者のスポーツを含めたスポーツ推進計画の策定が進んできており、地域での障がい者のスポーツ参加機会も徐々にではあるが広がりつつある。

障がい者が、日常的に地域のスポーツ事業への参加や体育施設を利用するためには、ハード面だけでなく、安全管理や障がいの理解、具体的な導入のノウハウ等を含めた総合的な環境づくりを整えることが重要であると考えられる。

そこで、障がい者の日常的な地域のスポーツ事業への参加や体育施設の利用を促進するために、配慮すべき点をガイドラインとしてまとめ、一般のスポーツ施設等（障がい者スポーツセンター以外の一般施設、諸団体・機関）へ周知することで、施設におけるソフト面でのバリアフリーの充実を図ることを目的とした。

### 2 事業内容

平成 26・27 年度の 2 か年にわたる調査研究を行った。

平成 26 年度は、ガイドラインの策定にむけて、日本体育施設協会に加盟している全国都道府県・市区町村のスポーツ施設 289 箇所の情報等から、ガイドラインの組み立てに必要な基本事項について共通理解を行った。

平成 27 年度は、調査方法や調査対象について検討するとともに、現況調査を実施し、その結果を踏まえてガイドラインを策定し、2 年間の調査研究事業を報告書としてまとめた。

#### （1）現況調査

##### 1）一般公共体育施設に対する現況調査

長野県、佐賀県、川崎市、大阪市（2 県 2 指定都市）の日本体育施設協会加盟施設のうち、屋外施設または屋内プールがある 289 施設に対し、質問紙により施設の概要、障がい者の利用状況、施設に関する自治体の条例・規則における障がい者の利用について具体的な記述の有無、障がい者スポーツ協会や指導者協議会に望む具体的な支援などについて、調査を行った。調査対象 289 施設のうち 110 施設から回答があった（回答率 41.7%）。

※ 障がい者スポーツセンターの設置有無、人口規模や立地等を加味し、2 県 2 市を選定。

##### 2）障がい者スポーツセンターの施設管理者へのヒアリング

長野県障がい者福祉センター（サンアップル）と大阪市長居障がい者スポーツセンターの施設管理者、施設職員にヒアリングを行い、一般公共体育施設において、障がい者の利用を促進する上で参考となる運営体制や留意点などを調査した。



### 3) 障がい者スポーツセンター利用者への簡易アンケートによる現況調査

長野県障がい者福祉センター（サンアップル）と大阪市障がい者スポーツセンターの利用者のうち、障がいの種類、年代、性別を考慮して抽出した 200 名を対象とした。

調査は、実施しているスポーツ種目、施設利用のきっかけ、公共スポーツ施設の利用経験や改善希望点などについて、それぞれの施設職員が利用者に直接聞き取る方法によるアンケート調査を行った。

### 4) 障がい者スポーツ指導者に関する現況調査

秋田県、高知県、名古屋市、広島市の各県・市の障がい者スポーツ指導者協議会を通じて、各県・市の障がい者スポーツ指導員（スポーツ協会やスポーツセンター職員は除く）40 名に対して、日常的な指導現場、公共スポーツ施設に必要と思われる改善点などについて、アンケート調査を行った。

※ 障がい者スポーツセンターの設置有無、人口規模や立地等を加味して 2 県 2 市を選定。公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員資格を有し、その上で、仕事としてではなく、日常的（恒常的に）に障がい者へのスポーツ指導に関わっている方に対してアンケート調査を実施。

## (2) ガイドラインの策定

調査結果をふまえ、誰にどのように伝えていくかを前提にガイドラインを策定した。

## 3 事業実施体制

### (1) 実施体制

#### 1) 委員

|     |       |                                  |
|-----|-------|----------------------------------|
| 委員長 | 大久保春美 | 日本障がい者スポーツ協会 技術委員長               |
| 委 員 | 石川 敬一 | 川崎市障害者スポーツ指導者協議会 会長              |
|     | 金山 和也 | 目黒区立体育館 副館長                      |
|     | 小松 和幸 | 日本体育施設株式会社 取締役 常務執行役員            |
|     | 今野 由夫 | 公益財団法人日本体育施設協会 総務部長              |
|     | 澁谷 茂樹 | 笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 主任研究員         |
|     | 栩本 貴志 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター 指導課 指導員（27 年度） |
|     | 三浦 雄高 | 長野県障がい者福祉センター スポーツ課 指導員          |
|     | 三上 真二 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター 館長（26 年度）      |
|     | 水原 由明 | 日本障がい者スポーツ協会 スポーツ推進部長            |

#### 2) オブザーバー

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 小淵 和也 | 笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 研究員 |
|-------|------------------------|

#### 3) 事務局

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 小島 武志 | 日本障がい者スポーツ協会 スポーツ推進部 |
| 屋敷 優友 | 日本障がい者スポーツ協会 スポーツ推進部 |

## (2) 会議の開催

### 【平成 26 年度】

#### 1) 第 1 回会議

- ・委員：9 名
- ・期日：平成 27 年 1 月 29 日（木）13：30～16：00
- ・会場：日本障がい者スポーツ協会会議室
- ・内容：調査研究の概要説明、今後の取組についての協議

#### 2) 第 2 回会議

- ・委員：9 名
- ・期日：平成 27 年 2 月 25 日（水）13：30～16：00
- ・会場：日本障がい者スポーツ協会会議室
- ・内容：今後の取組事項の確認と 27 年度計画

### 【平成 27 年度】

#### 3) 第 1 回会議

- ・委員：9 名
- ・期日：平成 27 年 6 月 23 日（火）10：00～12：00
- ・会場：日本障がい者スポーツ協会会議室
- ・アンケート調査項目や方法についての協議、スケジュールと役割分担について

#### 4) 第 2 回会議

- ・委員：9 名
- ・期日：平成 27 年 10 月 15 日（木）13：30～16：30
- ・会場：日本障がい者スポーツ協会会議室
- ・アンケート内容の確認と現地調査について協議

#### 5) 第 3 回会議

- ・委員：9 名
- ・期日：平成 28 年 1 月 19 日（火）10：30～15：30
- ・会場：笹川スポーツ財団会議室
- ・内容：アンケート結果報告、報告書の組立、ガイドラインの組立

## (3) 現地調査

#### 1) 長野県障がい者福祉センター（サンアップル）

- ・委員 2 名、事務局 1 名
- ・期日：平成 27 年 11 月 26 日（木）
- ・内容：施設管理者へのヒアリング

#### 2) 大阪市長居障がい者スポーツセンター

- ・委員 2 名、事務局 1 名
- ・期日：平成 27 年 12 月 1 日（火）
- ・内容：施設管理者へのヒアリング

## 4 報告の要旨

### (1) 「障がい者の環境づくりガイドライン」

地域における障がい者のスポーツ環境づくりに密接な関係があると思われる地域行政、公共スポーツ施設、指導者やスポーツ組織、福祉関係という4つの分野に分け、①行政に期待すること、②スポーツ施設に期待すること、③スポーツ指導者及びスポーツ・レクリエーション団体に期待すること、④福祉関係者・団体に期待することとして、推奨する取組み及び参考になる具体的な説明を加えてガイドラインとした。

### (2) 現況調査

#### 1) 一般公共体育施設における現況調査

日本体育施設協会の加盟施設の中から、屋外施設または屋内プールがある長野県、佐賀県、川崎市、大阪市（2県2指定都市）の289施設に調査書を送付し110施設から回答があった。

- ① 屋内施設における障がい者の利用の有無については、「あった」が50.4%、「把握していない」が44.2%であった。
- ② 「障がい者の利用の促進のために、具体的な配慮や取組みはしていない」は63.7%であった。
- ③ 施設の指定管理仕様に記載されている、障がい者の利用に関する具体的な内容については、「障がい者の利用への配慮」が30.1%と最も高く、次いで「障がい者が参加できるスポーツ教室・プログラムの開催」(8.8%)、「障がい者スポーツ指導員の配置」(3.5%)の順であった。
- ④ 障がい者の利用に関して、支援や情報提供を受けた組織・団体については、「社会福祉協議会」が16.8%と最も高く、次いで「行政の障がい福祉関連部等」(14.2%)、「障がい者の当事者団体・家族会等」(9.7%)、「行政のスポーツ担当部署(障がい者スポーツを除く)」(8.0%)の順となっている。

一方で、「障がい者の利用に関して、支援や情報提供を受けた障がい福祉関連機関・団体はない」は56.6%となっている。

#### 2) 障がい者スポーツセンターの施設管理者へのヒアリング

##### ア) 調査の目的

障がい者が、身近な場所でスポーツに親しむ環境を整備するためには、地域の公共体育施設が障がい者に利用しやすいものになる必要がある。この調査では、障がい者の専用・優先施設である障がい者スポーツセンターへの現地ヒアリング調査を通じて、障がい者への施設の周知、障がい者が安全に利用するための運営方法など、一般公共体育施設に適用できる取組みを抽出することを目的とした。

## イ) 調査対象施設

### ① 長野県障がい者福祉センター（サンアップル）

所在地：長野県長野市下駒沢 586

設置年：平成 10 年（1998 年）

施設概要：体育館、室内温水プール（25m×6 コース）、トレーニングルーム、陸上競技場、テニスコート、アーチェリー場、サンアップルホール、会議室、ラウンジ、宿泊室、聴覚障がい者情報センター

指定管理：障がい者スポーツ振興グループ

（社会福祉法人長野県社会福祉事業団と特定非営利活動法人長野県障がい者スポーツ協会の共同体）

### ② 大阪市長居障がい者スポーツセンター

所在地：大阪市東住吉区長居公園 1-32

設置年：昭和 49 年（1974 年）

施設概要：体育室、室内温水プール（25m×6 コース）、卓球室、ボウリング室、トレーニング室、小体育室、遊戯室、屋内運動場、会議室、ラウンジ、研修室（和室）、屋外プール（7m 四方）

指定管理：社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会

## ウ) 調査時期

長野県障がい者福祉センター（以下、長野サンアップル）：平成 27 年 11 月 26 日

大阪市長居障がい者スポーツセンター（以下、大阪長居）：平成 27 年 12 月 1 日

## エ) ヒアリングのまとめ

### 一般体育施設の参考となる障がい者スポーツセンターの運営手法やノウハウ

#### ① 障がい者への施設の周知

地域の公共施設はハード、ソフトの両面から利用しづらいと考える障がい者やその保護者・介助者がいることを想定して、障がいのない者以上に積極的に周知を図る必要がある。

#### <参考事例>

- (1) 学校卒業後の運動・スポーツの機会確保が課題と言われる特別支援学校の生徒に対する取組みとして、県内のすべての特別支援学校に対し、卒業後の利用促進のための説明を毎年行っている。（長野サンアップル）
- (2) 市内の障がい者施設や事業所に、スポーツ教室のチラシを配布したところ、普段センターを利用していない障がい者の参加があった。（大阪長居）

#### ② 障がい者の初回利用時の対応

#### <参考事例>

- (1) 初回利用時には、「利用証申込書」を提出してもらう。利用者の障がいについての情報の記入は、必要最低限にとどめている。（長野サンアップル）

- (2) 個々人の細かな症状は、看護師や指導員が必要に応じて、「スポーツ健康相談問診票」「リハビリセンター入所者問診票」などで確認する。(長野サンアップル)
- (3) 初回利用時に障害者手帳を提示してもらい、利用者カードを作成する。利用者カードの申請書類には「障害種別」「等級」を書く欄がある。(大阪長居)
- (4) 障がいの程度を含めて、利用者に個人情報をお細かく聞くのは難しいケースもある。このため、初めて利用する障がい者が、安全に運動・スポーツができるか、慎重に見極めている。(大阪長居)

### ③ 障がい者の安全な利用のための取組み

障がい者が公共施設を安全に、そして快適に利用するためには、施設管理者が利用者の障がいの種類や程度、健康状態や、スポーツに対するニーズを正しく把握する必要がある。

<参考事例>

- (1) 障がい者のプールの個人利用では、一人で安全を確保するのが難しい利用者については、介助者をつけてもらう場合がある。(長野サンアップル)
- (2) プールの初回利用時には、動線の確認や入退水の方法などを丁寧に指導している。(長野サンアップル)
- (3) 施設の指導員は、利用者を「見守る」姿勢で臨んでいる。過保護にせず、何かあったときに、手の届く距離感を保つことが大事である。指導員は、経験を積みながら、こうした能力を徐々に身につけている。(長野サンアップル)
- (4) 施設別に連絡簿があり、利用者の障がいについて、配慮すべき点や注意事項などを記録し、職員の間で情報を共有している。利用者の状況を継続的に、丁寧に観察し、必要な情報が引き継がれている。(大阪長居)
- (5) 障がい別のマニュアルはない。同じ障がいでも、個人によってその程度や配慮すべきポイントは千差万別で、マニュアル化するのは難しい。個別事例をマニュアル化しても、逆にそれに縛られて、実際の現場で役に立たない場合も考えられる。(長野サンアップル)(大阪長居)

### **3) 障がい者スポーツセンター利用者への簡易アンケートによる現況調査**

長野県障がい者福祉センター利用者(70名)と大阪市長居障がい者スポーツセンター利用者(130名)計200名に対し、それぞれの施設職員が簡易アンケート用紙を用いて利用者に直接聞き取る方法で実施した。対象者については、施設の協力をいただき障がいの種類、年代、性別を考慮して抽出した。

- ① 障がいの種類については、「肢体不自由(車椅子不要)」が27.5%と最も高く、次いで「知的・発達障がい」(19.5%)、「視覚障がい」(15.5%)、「肢体不自由(車椅子必要)」「精神障がい」(それぞれ14.0%)の順となっている。
- ② 日頃、一緒に来る人については、「ひとり」が77.0%と最も高く、次いで「家族」(13.5%)、「介護ヘルパー」(12.0%)、「職場・学校・施設の同僚や友人」(5.0%)の順となっている。

- ③ 施設の利用頻度については、「週に3回」が20.5%と最も高く、次いで「週に2回」(17.5%)、「週に1回」(16.5%)、「週に4回」(14.0%)の順となっている。
- ④ 自宅からの移動手段については、「自家用車」が39.0%と最も高く、次いで「電車」(31.0%)、「その他」(19.5%)、「徒歩」「バス」(それぞれ10.5%)の順となっている。
- ⑤ 当施設の他に、日常的に運動・スポーツに利用している公共スポーツ施設や学校施設の有無については、「ある」が30.0%、「ない」が66.0%となっている。

#### 4) 障がい者スポーツ指導者に関する現況調査

秋田県、高知県、名古屋市、広島市の各県スポーツ指導者協議会を通じて、各県・市の障がい者スポーツ指導員（スポーツ協会やスポーツセンター職員は除く）40名に対して、日常的な指導現場、公共スポーツ施設に必要と思われる改善点などについて、アンケート調査を行った。

- ① 資格種別については、初級指導員が60.0%と最も高く、次いで中級指導員(22.5%)、上級指導員(20.0%)、スポーツコーチ(7.5%)、スポーツトレーナー(2.5%)の順となっている。
- ② 過去1年間の指導回数については、「年に151回以上」が20.0%と最も高く、次いで「年に51～100回」(15.0%)、「年に1～5回」「年に6～10回」「年に101～150回」(それぞれ12.5%)の順となっている。
- ③ 障がい者への日常的な指導場所（複数回答可）については、「障がい者スポーツセンター」が70.0%と最も高く、次いで「公共スポーツ施設(公民館を含む)」(55.0%)、「障害福祉施設」(30.0%)、「学校体育施設」(15.0%)の順となっている。
- ④ 公共スポーツ施設または学校体育施設で指導している運動・スポーツ種目については、「球技やチームスポーツ」が44.0%と最も高く、次いで「歩く・走る・泳ぐ」(28.0%)、「障害者スポーツ」(12.0%)の順となっている。
- ⑤ 公共スポーツ施設または学校体育施設で指導している指導種目については、「知的・発達障がい」が84.0%と最も高く、次いで「肢体不自由(車椅子不要)」(44.0%)、「肢体不自由(車椅子必要)」(40.0%)、「精神障がい」(それぞれ40.0%)、「視覚障がい」(24.0%)、「聴覚障がい」「内部障がい」(それぞれ20.0%)の順となっている。
- ⑥ 公共スポーツ施設や学校体育施設を利用している理由（複数回答可）については、「施設のスタッフが障がい者に理解がある」が56.0%と最も高く、次いで「近くにある」「障がい者用トイレ(多目的トイレ)がある」(それぞれ48.0%)、「エレベーターがある」(36.0%)、「障がい者用の駐車スペースがある」(32.0%)の順となっている。
- ⑦ 障がい者のスポーツ活動促進のために改善する必要があること（3つまで回答可）については、「施設のスタッフの障がい者への理解促進」が72.5%と最も高く、次いで「施設利用者(健常者)の障がい者への理解促進」(60.0%)、「障がい者向けの教室の開催」(45.0%)、「障がい者用トイレ(多目的トイレ)の設置」(32.5%)、「障がい者更衣室(多目的更衣室)の設置」(20.0%)の順となっている。



### Ⅲ ガイドライン





### Ⅲ ガイドライン

#### ～障がい者のスポーツ環境づくりガイドライン～

## 1. 策定にあたって

### (1) ガイドライン策定の背景

スポーツ基本法、障害者総合支援法、バリアフリー法等に基づき、共生社会の実現に向けた取り組みが進んでおります。各省庁や関係組織による環境整備、スポーツ基本計画の策定等を受けた具体的な施策の推進が図られており、さらに平成 28 年 4 月には障害者差別解消法が施行されることとなりました。

このような中で、地域における障がい者のスポーツ活動の推進や環境整備については、都道府県や市町村によるスポーツ推進計画の策定等を通じて、施策の検討が進められているものの、障がい者の幅広いスポーツ参加につながる具体的な取り組みは未だ少なく、地域の障がい者のスポーツ活動の日常化は十分に進んでいないのが現状です。

### (2) ガイドライン策定の目的と趣旨

地域における障がい者のスポーツの振興については、これまで福祉や障がい者スポーツ関係者の尽力により進められてきましたが、障がい者のスポーツ活動の更なる発展のためには、より多くの関係者や一般市民の理解と協力、その行動が求められてきております。

そこで、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会が日本における障がい者スポーツ統轄団体として担うべき取組みの一環として、障がい者が地域のスポーツ事業への参加やスポーツ施設の利用が促進される環境を整えることを目的に、行政・スポーツ施設・福祉関係の各団体の専門性を活かした取組みについて期待したいことや配慮していただきたい点など、障がい者のスポーツ参加が促進される環境の整備に向けた取り組みの参考となるガイドラインを策定いたしました。

### (3) ガイドラインの対象と対象者

本ガイドラインは、地域行政、公共スポーツ施設、スポーツ指導者や関係組織、福祉関係者を対象として構成いたしました。また、対象者はすべての障がい者を前提にしております。

## 2. ガイドラインの内容

### (1) 行政に期待すること

厚生労働省の調査では、日本の人口に占める障がい者（身体障がい、知的障がい、精神障がいの3障がいすべて）の割合は、およそ6%になります。手帳等の交付を受けた障がい者だけではなく、怪我や病気、加齢等により何らかの障がいのある人も増えています。

2014年度から、国の障がい者スポーツ行政が厚生労働省から文部科学省（2015年10月からはスポーツ庁）に移管されました。

この流れを受けて、地方自治体のなかには障がい者スポーツの担当をこれまでの障がい福祉部局からスポーツ振興部局に移すところもみられますが、どちらが主管部局であっても、スポーツと福祉が連携して、障がいのある人のスポーツ振興に取り組む必要があります

スポーツの目的は人それぞれ異なっています。自己実現、健康づくり、余暇の楽しみなど障がいの有無や程度を問わず、身近な地域で誰もがスポーツを享受できる環境の整備に向けた都道府県や市町村行政の取り組みを期待します。

### めざす方向

組織の縦割りにとらわれず、

地域のスポーツは障がい者の参加を前提に推進する

### Step 1 現状を把握する

#### 一地域の障がい者のスポーツ参加状況や支援体制等を把握する一

障がい者のスポーツについての施策を展開するには、まず障がい者が行っている運動・スポーツの内容や、これらを支えている組織や支援者の状況、スポーツ施設や学校施設等におけるバリアフリーの状況等を把握しておくことが必要と考えます。

障がい者福祉サービスの提供を受けて生活している人も多いので、障がい福祉部局や社会福祉協議会等からサービス提供者の実態や障がい者の生活実態を把握することで、事業が進めやすくなります。

また、特別支援学校や普通校に併設されている特別支援学級に在籍する児童・生徒を担当する教育委員会、放課後等デイサービスを担当する児童福祉行政など、それぞれを所管する部局を超えた情報の共有を図り、障がい者の現状把握と障がい者の視点に立ったスポーツ環境整備のための資料を得ることで地域の障がい者スポーツ施策へ反映することができるはずです。

## Step 2 具体的な記述で実行する

### ー公共施設の条例、

### 指定管理の仕様等に障がい者への配慮を明文化するー

多くの公共スポーツ施設は、指定管理者制度を導入しています。そこで、運営を委託する際の「指定管理業務仕様書」等に、障がい者の利用や配慮点について明文化しましょう。

また、障がい者がスポーツをする場所は、公共スポーツ施設だけに限りません。例えば公園や遊歩道なども高齢者や障がい者が利用しやすい場となるよう、行政全体での環境整備をめざすとともに、行政の各種計画に障がい者の施設利用の促進に関して具体的に記述することを期待します。

(スポーツ施設の指定管理の仕様の例)

| 自治体名        | 施設名        | 記載箇所                         | 内容（抜粋）                                        |
|-------------|------------|------------------------------|-----------------------------------------------|
| 神奈川県<br>川崎市 | 川崎市<br>体育館 | スポーツ教室事業等の実施に関する要求水準         | 事業の実施にあたっては、障がい者の受講に配慮すること                    |
| 奈良県<br>生駒市  | 生駒市<br>体育館 | 施設の運営に関すること<br>：身体障害者の補助犬の扱い | 身体障害者が使用する場合において、原則として身体障害者補助犬を同伴することを拒否できません |

## Step 3 地域組織をつなぐ

### ースポーツ関係者と障がい福祉関係者の協働にむけて、

### 地域がつながる役割を果たすー

福祉関係者が企画・運営する障がい者のスポーツイベントに、地域のスポーツ推進委員やスポーツ競技団体などの参画を促すなど、行政が地域組織をつなぐ役割を果たすことを期待します。

スポーツ関係者と福祉関係者が、互いの資源（施設・場所、人材、ネットワーク、専門知識等）を積極的に共有し、協力することで障がい者の運動・スポーツの場と機会が拡充します。あわせて、障がい者への理解の拡がりにもつながるので、行政の積極的な働きかけを期待します。

- ① スポーツ関係者：スポーツ行政、体育協会、スポーツ施設、スポーツ推進委員、スポーツ少年団、小・中学校体育連盟等
- ② 福祉関係者：福祉行政、社会福祉協議会、障がい者施設・事業所、当事者団体・家族会等
- ③ 連携の推進役：障がい者スポーツ協会、障がい者スポーツ施設、障がい者スポーツ指導員等

## (2) スポーツ施設に期待すること

地域の公共スポーツ施設は、障がい者も含め、地域住民の誰もが気軽に集うことが出来るスポーツの場であることが理想です。

障がい者の多くは日常的な身体活動の機会が少ないため、健康の保持・増進のためにスポーツの果たす役割は障がいのない人以上に大きいと言えます。障がい者のスポーツ活動を日常化させるためにも、身近な地域にある公共スポーツ施設の存在は重要であり、「生活圏内にスポーツをする場がある」ということに加えて、人と出会い、地域社会とのつながりを促進させるなど、地域生活を営む上でも大きな意味があります。

スポーツ施設では「障がい者の安全な施設利用に対して漠然とした不安」を抱える一方、障がい者からは、「施設で働くスタッフや他の利用者との良好な関係が施設利用を考える上で最も大事」と考えているという調査結果があります。

まずスポーツ施設では、障がい者の利用促進に一步踏み出し、施設のスタッフは、障がい者との積極的なコミュニケーションを図り、必要な配慮や工夫に努めることを期待します。

### めざす方向

障がいの有無に関わらず、誰もが利用しやすい施設をめざす

#### Step 1 障がい者の積極的な受け入れ

—障がいのある人も、地域の住民であるという視点で—

まず、障がいのある人もスポーツ施設の利用対象者であることを認識することです。そのうえで、施設利用の際の受け入れ体制や配慮点などの運営体制を整備します。

#### Step 2 適切な配慮と自立に向けた支援

—障がいの有無を問わず個々の利用に適した対応を—

施設の利用意思がある者に対して、ハード面での障壁や「障がいがあるから」という理由で、施設利用が難しいと安易に判断するべきではありません。まずは、どのようにしたら施設を「安心して」「継続して」利用してもらえるか、利用者と一緒に考えることが大切です。工夫や配慮すべき点は、障がいの種類や程度によって異なるので、コミュニケーションを積極的に図りましょう。

### Step 3 連携先をつくる

#### －障がい者の対応について、相談できる連携先を創出する－

市町村の障がい福祉課、社会福祉協議会をはじめとして、都道府県障がい者スポーツ協会や障がい者スポーツ施設等とのネットワークの構築を図り、障がい者の対応について日常的に助言・指導を受けられる体制をつくりましょう。

### Step 4 広報の工夫

#### －対象者に届く広報と周知を展開、関心を高めるための取り組み－

障がい者のためのスポーツ教室を企画しても、参加者が集まらないことがあります。

スポーツの体験が乏しい障がい者も数多くいますので、スポーツ体験がなければ、スポーツの習慣化や積極的なスポーツ活動への参加にはつながりません。まずは、スポーツを体験できる機会を増やすことですが、スポーツ施設の来館やスポーツイベントへの参加を求めるだけでは障がい者のスポーツ参加率が高まることは難しい現状があります。

まず、障がい者のいる場所に出向いたスポーツ教室等で、体験の場を作ることが大切です。スポーツの楽しさを体験することで、教室の広報や募集チラシに対して、関心が高まるはずです。

さらに、障がい者の利用を「積極的に受け入れる」という姿勢を地域に向けて発信することも大切です。

### (3) スポーツ指導者及び

#### スポーツ・レクリエーション団体に期待すること

スポーツは、人々の生活と生きる力を育みます。こうしたスポーツの価値は障がいの有無に関わらずすべての人にとって共通のものです。地域のスポーツ指導者やスポーツ・レクリエーション団体の関係者には、予め障がい者も想定した地域のスポーツ環境づくりの担い手としての役割を期待します。

障がいの種類や状況は様々ですが、すべての障がい者に特別な配慮が必要なわけではありません。例えば、卓球を愛好する障がい者と指導者にとって、共通のテーマは「卓球」です。一緒に卓球を楽しむ上で、配慮が必要かどうかは、指導者が本人から聞けばいいのです。

指導対象者に「障がい」があることを躊躇せず受け止めて、スポーツ指導者として備えている知識やノウハウを障がい者にも提供することで、スポーツを通じた共生社会の実現に向けて貢献することを期待します。

## **めざす方向**

スポーツ指導のノウハウを発揮し、  
障がい者の自発的なスポーツへの参加を促す

### **Step 1 小さな体験の場づくり**

#### **—運動・スポーツの魅力を障がい者に伝える—**

既存の事業のなかに、障がい者が参加できるかを検討してください。すべての障がいを対象とする必要はありません。事業の内容と障がいの特性を考慮して、無理のない範囲で取り組むことをお勧めします。

障がいについてわからないことは、福祉関係者の助言を得るなど、事業内容を作り上げていくことが大切です。障がい者がスポーツの楽しさを享受できる場をつくることを心がけてください。

### **Step 2 一緒にやってみる**

#### **—障がい者も受け入れ、運動・スポーツを「指導」していく—**

まずは一緒に行ってみて、コミュニケーションを図ることで、必要な配慮や適切な指導方法が分かるはずです。地域で活動する団体（クラブ・サークル等）においても、運動・スポーツに意欲のある障がい者がいる場合は出来る限り受け入れ、各障がいに応じて継続して指導してください。都道府県の障がい者スポーツ協会や障がい者スポーツセンター、障がい者スポーツ指導者協議会の協力を得ることで、障がい者に対する指導の質は高まります。

### **Step 3 理解する**

#### **—障がいや障がい者スポーツの理解を深める—**

障がい者のスポーツを推進するためには、地域のスポーツ現場における理解と協力が不可欠です。より充実した指導やプログラムを進めるうえで、障がいや障がい者のスポーツについての理解を深めることが大切になります。

障がいについては地元の社会福祉協議会や福祉団体、スポーツについては都道府県の障がい者スポーツ協会や障がい者スポーツセンターなどから講師を招いて研修会を企画する方法もあります。

## Step4 コミュニケーション

### ーコミュニケーションスキルを高めて

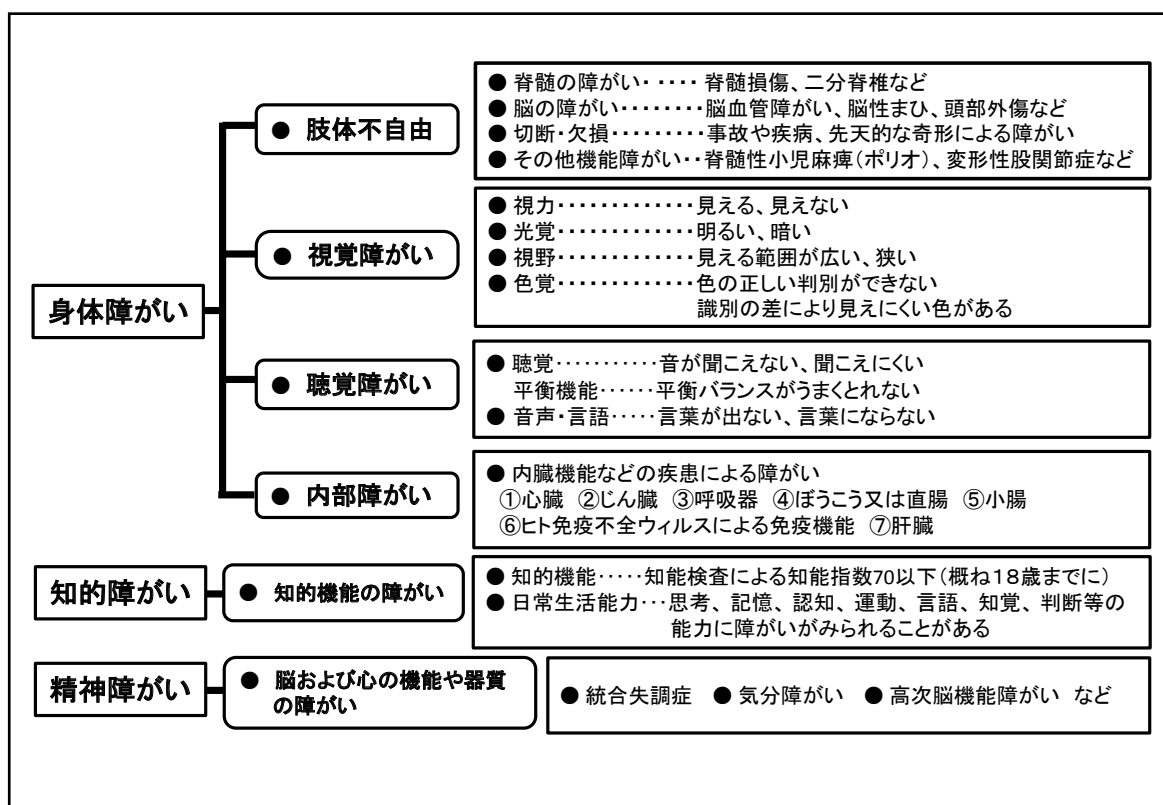
### さまざまな障がい者に対応するー

指導者は、活動の主体が障がい者自身にあることを念頭におき、対等な人間関係を築く心がけが大切です。指導をする側と指導を受ける側との関係、あるいは健常者と障がい者という関係では、ややもすると上下の関係になりがちです。

コミュニケーションは、双方のやりとりで成立するものであり、スポーツを安全に楽しく実践する際には、指導者と障がい者の双方で、情報を正しく伝え合う必要があります。

下図のとおり、障がいは様々であり、また障がい者それぞれによって対応は異なってきます。コミュニケーションは、言葉による伝達だけではなく、言葉以外の文字や身振り、表情なども含まれ、内容の正しさはもちろんですが、どのように伝えるかが大切です。優れたコミュニケーションとは、相手に「伝わる度合いが高い」ということであり、「相手の考えや求めていることがわかる」、「お互いの関係性が良くなる」ことにもつながってきます。その結果、指導者に対する「安心」や「信頼」が生まれ、「理解しあえる」ことで、スポーツに対する満足度が高くなります。このようにスポーツ指導者に必要なコミュニケーションスキルを高めることを期待します。

### < 障がいの種類はさまざま >





## (4) 福祉関係者・団体に期待すること

障がい者の身近な存在である地域の福祉関係者・団体等は、スポーツの拡大に向けての強力な理解者です。

スポーツは、健康保持・増進や仲間づくりのみならず、積極的な社会参加を促すきっかけになる可能性もあり、その意義・効果は言うまでもありません。福祉関係者・団体が活動の中で、スポーツを効果的に活用するとともに、共生社会の実現にむけてスポーツに関わる組織・団体との連携の橋渡し役を担うことを期待します。

### めざす方向

障がい者にとって日々の生活に運動・スポーツが大切だという認識をもって具体的な行動を行う

#### Step 1 障がい者を理解する身近な存在として

障がい者への理解は、少しずつ深まっていますが、身体活動を伴うスポーツの場面においては、身近な地域で幅広い機会が提供されているとは言えません。地域との橋渡しの役割を担っている福祉関係者には、スポーツの意義を障がい者に伝えと共に、障がい者にとってスポーツが重要であることを地域のスポーツ関係者に伝えることを期待します。

#### Step 2 障がい者と一緒に出来ることを体験

障がい者のスポーツニーズを把握し、日常的に身体活動、スポーツ・レクリエーション活動の導入を進めてください。まずは行動することを期待します。

スポーツは、生活習慣病の予防や介護予防等、仲間づくりや社会参加の推進など、障がい者の自己実現と生活の質を高めるために有意義な活動です。福祉関係者の日常支援の中の一つのツールとしてスポーツを積極的に活用しましょう。

#### Step 3 障がい者だけの取組みから、 地域社会の一員としての橋渡しを

施設や学校など、限られた空間や場面だけではなく、地域の公共スポーツ施設やスポーツ事業に積極的に参加しましょう。障がい者と一緒にスポーツをすることで、障がい者自身の変化（表情、意欲、コミュニケーションなど）に気づくはずです。

さらに、障がいに関する専門的な知識・ノウハウを地域へ発信、提供することは障がい者理解の促進のために重要な役割になります。

## ■ 障がい者スポーツ指導者資格取得者に期待すること ■

日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導者には、①障がい者スポーツ指導員、②障がい者スポーツコーチ、③障がい者スポーツトレーナー、④障がい者スポーツ医の4つの資格があり、全国に2万人を超える指導者がいます。

障がい者スポーツ指導者は、地域の障がい者スポーツの推進に欠かせない存在です。皆さんに期待することとしては次のことが挙げられます。

### ① 場づくり

障がい者がスポーツをする場として生活圏内にある公共スポーツ施設等を積極的に活用することや、障がい者が各種スポーツ事業に参加するための推進役になること。

### ② 継続したスポーツ指導

地域の公共スポーツ施設等において、障がい者も可能な限り他の利用者と同様に利用あるいは参加し、継続できるような支援、指導をすること。

### ③ 理解啓発

障がい者スポーツの専門家としての地域での関わりに努め、施設スタッフや関係者と積極的に連携し、助言や情報提供をすること。

### ④ 障がい者スポーツ環境づくりのコーディネート

地域のスポーツ施策等への積極的な参画と地域スポーツをコーディネートするという意欲をもって活動すること。



## IV 資 料

### 1 調査結果

- (1) 公共スポーツ施設に関する調査
- (2) 障がい者スポーツセンター施設管理者・施設職員への聞き取り調査
- (3) 障がい者スポーツセンター利用者簡易アンケート
- (4) 障がい者スポーツ指導者に関する調査



## IV 資料

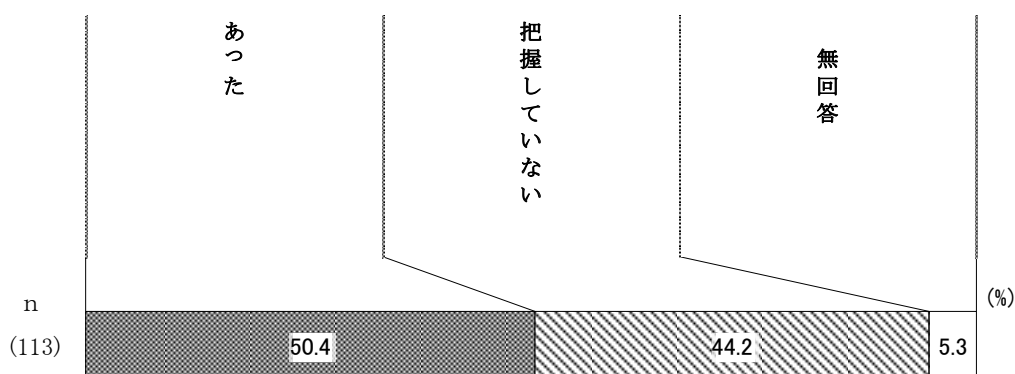
### 1 現況調査（結果）

#### （1）一般公共体育施設における現況調査

長野県、佐賀県、川崎市、大阪市（2 県 2 指定都市）の日本体育施設協会加盟施設のうち、屋外施設または屋内プールがある 289 施設に質問紙により、施設の概要、障がい者の利用状況、施設に関する自治体の条例・規則における障がい者の利用について具体的な記述の有無、障がい者スポーツ協会や指導者協議会に望む具体的な支援などについて、調査を行った。対象は 4 県・市 289 施設であり 110 施設から回答があった（回答率 41.7 %）。

#### Q 1－1 屋内施設における障がい者の利用はありましたか。

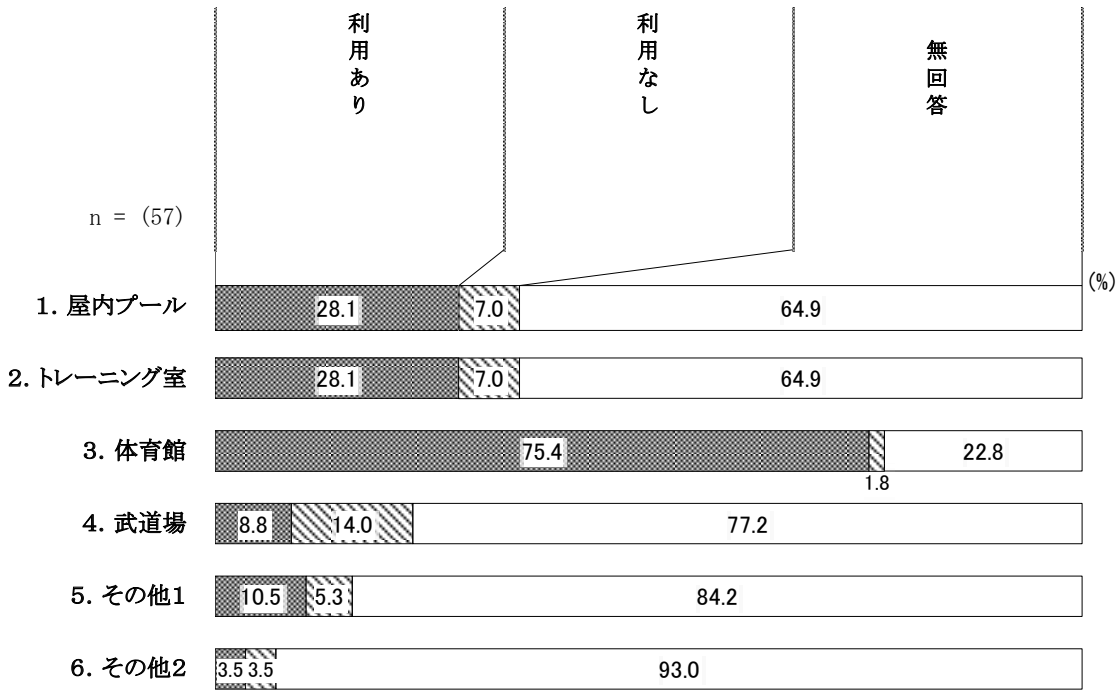
<全体>



屋内施設における障がい者の利用の有無については、「あった」が 50.4%、「把握していない」が 44.2%となっている。

**Q 1－2 屋内施設の利用内容を教えてください。**

＜利用状況 全体＞

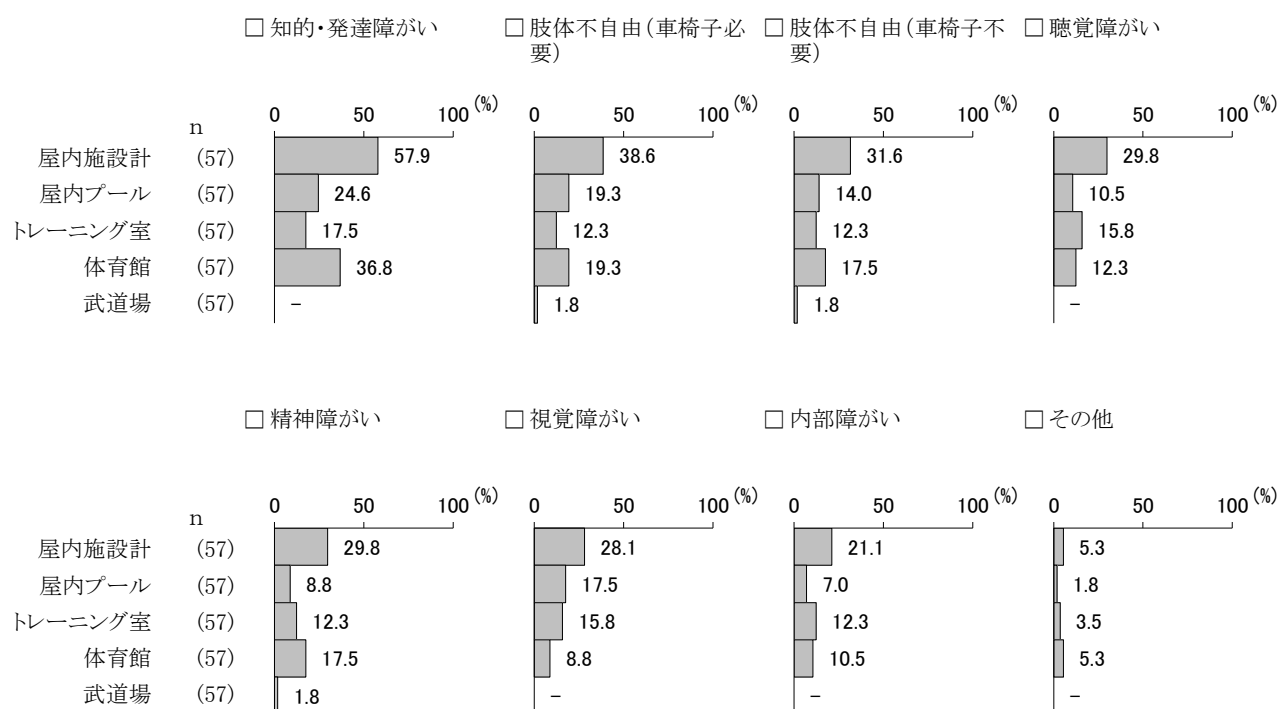


屋内施設の利用状況で、屋内プール及びトレーニング室については、「利用あり」がそれぞれ 28.1%となっている。

体育館については、「利用あり」が 75.4%となっており、他の利用内容と比べて大幅に高くなっている。

## 公共スポーツ施設に関する調査

### <障がい種別 全体>

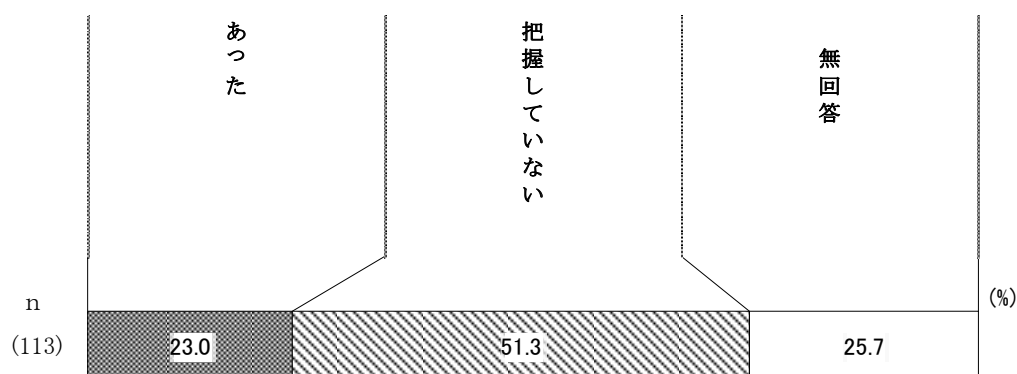


障がい種別の屋内施設の利用状況で、各項目で知的・発達障がいの割合が最も高く、特に体育館は 36.8% となっている。



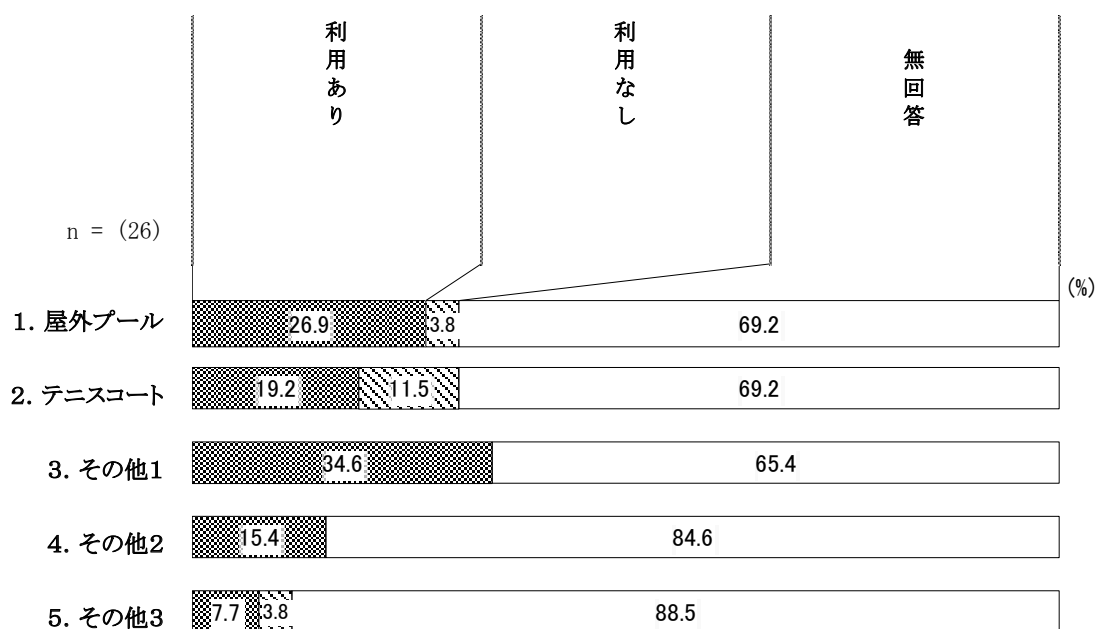
**Q 1－3 屋外施設における障がい者の利用はありましたか。**

<全体>



屋外施設における障がい者の利用の有無については、「あった」が 23.0%、「把握していない」が 51.3%となっている。

<利用状況 全体>



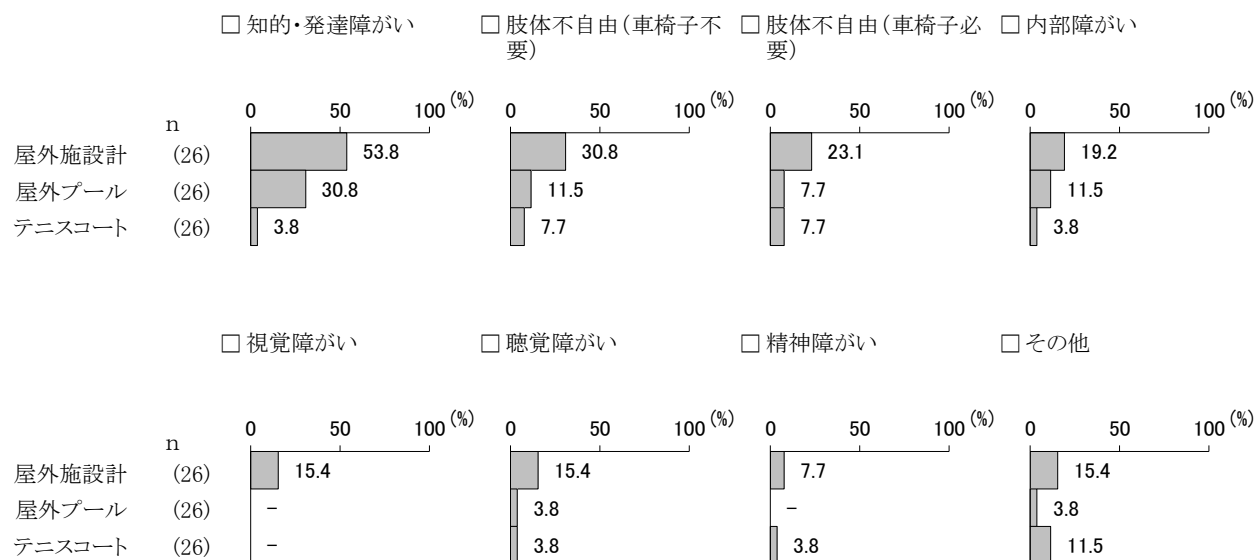
屋外施設の利用状況で、屋外プールについては、「利用あり」が 26.9%、「利用なし」が 3.8%となっている。

テニスコートについては「利用あり」が 19.2%、「利用なし」が 11.5%となっている。

その他 1 については、「利用あり」が 34.6%、「利用なし」が 0.0%となっている。

## 公共スポーツ施設に関する調査

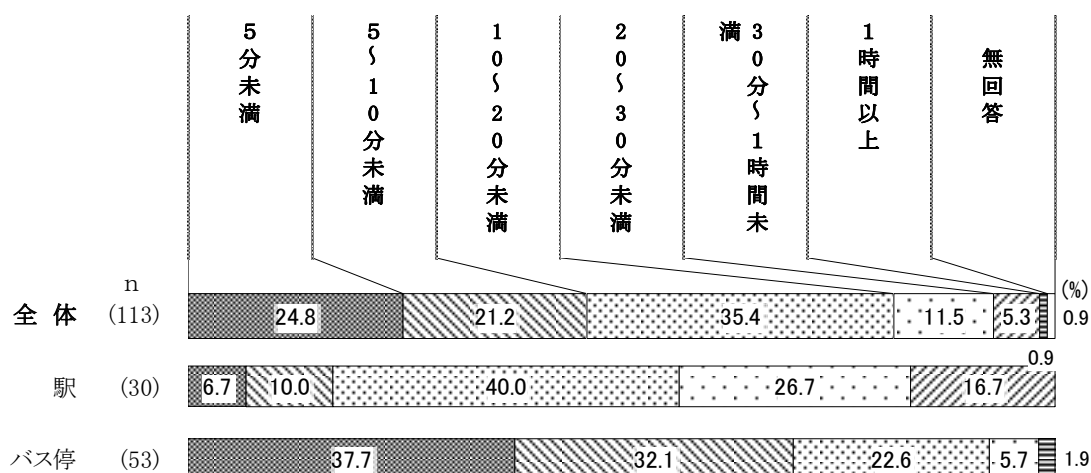
### <障がい種別 全体>



障がい種別の屋外施設の利用状況で、屋外プールについては知的・発達障がいで30.8%と最も高くなっている。

**Q 2 貴施設は、電車・バス等の公共交通機関の最寄駅から徒歩何分くらいの場所にありますか？駅またはバス停のいずれかの施設から近い方を選び、およその分数をご記入ください。**

<全体>



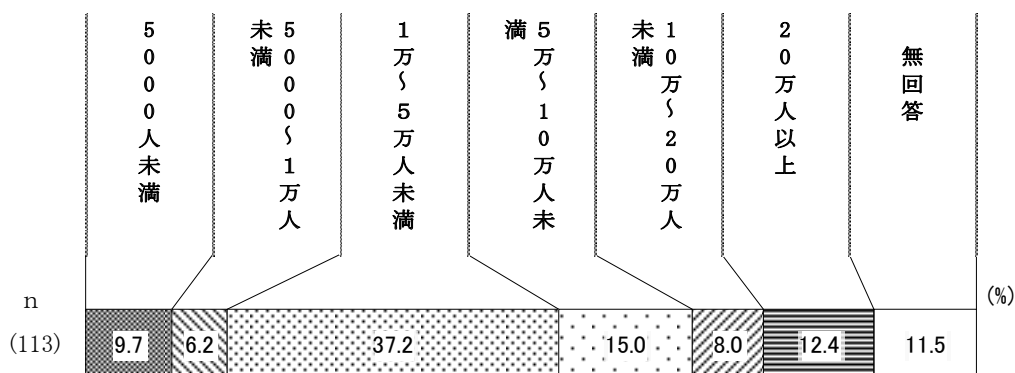
電車・バス等の公共交通機関の最寄駅からの徒歩による所有時間については、「10～20分未満」が35.4%と最も高く、次いで「5分未満」(24.8%)、「5～10分未満」(21.2%)、「20～30分未満」(11.5%)の順となっている。

駅からの所有時間については、「10～20分未満」が40.0%と最も高く、次いで「20～30分未満」(26.7%)、「30分～1時間未満」(16.7%)、「5～10分未満」(10.0%)の順となっている。

バス停からの所有時間については、「5分未満」が37.7%と最も高く、次いで「5～10分未満」(32.1%)、「10～20分未満」(22.6%)、「20～30分未満」(5.7%)の順となっている。

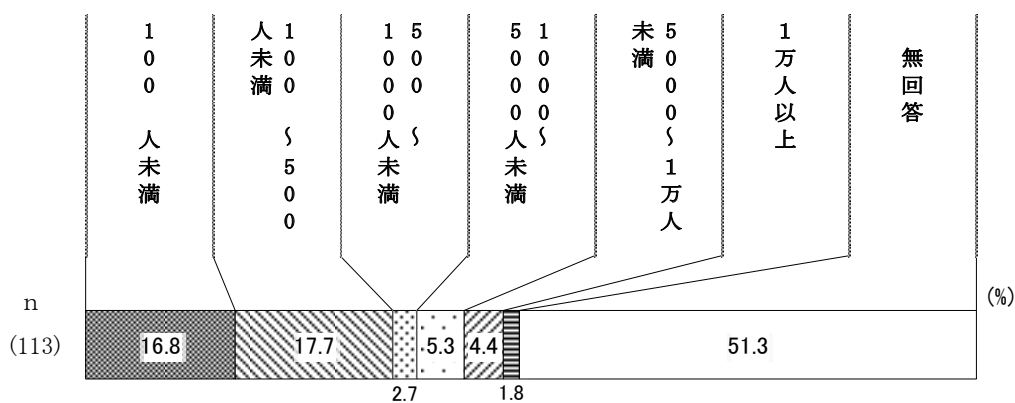
**Q 3 貴施設における平成 26 年度の利用人数について、わかる範囲でお答えください。**

＜施設利用者 全体＞



平成 26 年度の利用人数については、「1 万～5 万人未満」が 37.2%と最も高く、次いで「5 万～10 万人未満」(15.0%)、「20 万人以上」(12.4%)、「5000 人未満」(9.7%)の順となっている。

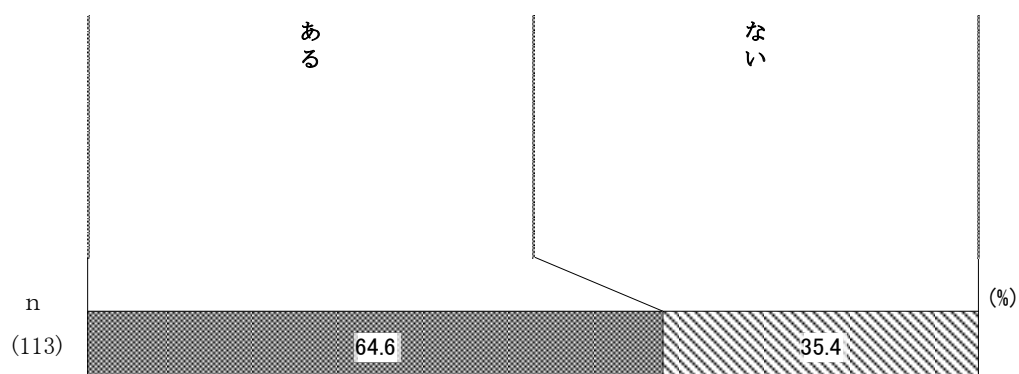
＜障がい者の施設利用者＞



平成 26 年度の障がい者の利用人数については、「100～500 人未満」が 17.7%と最も高く、次いで「100 人未満」(16.8%)、「1000～5000 人未満」(5.3%)、「5000～1 万人未満」(4.4%)の順となっている。

**Q 4－1 貴施設では、障がい者に対する施設利用料の減免はありますか。**

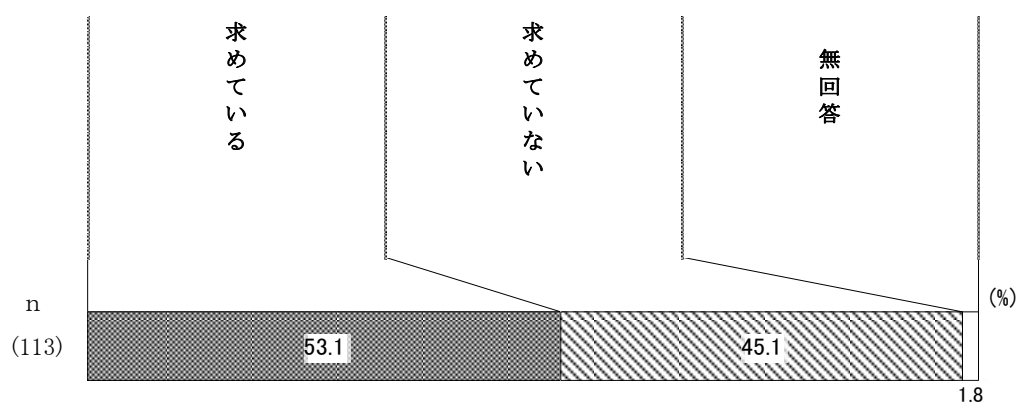
<全体>



障がい者に対する施設利用料の減免については、「ある」が 64.6%、「ない」が 35.4% となっている。

**Q 4－2 貴施設では障がい者の利用者に障害者手帳の提示を求めていますか。**

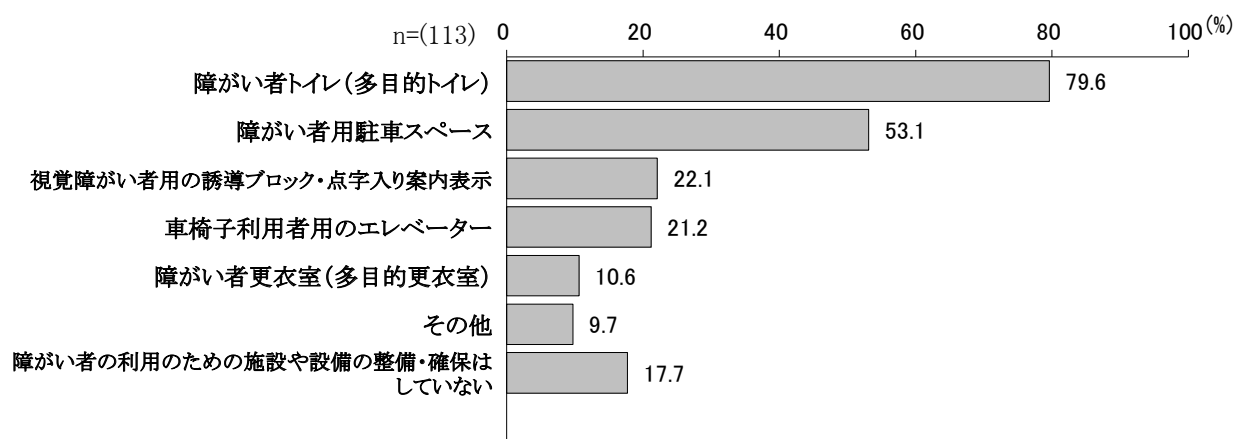
<全体>



障害者手帳の提示については、「求めている」が 53.1%、「求めていない」(45.1%)、となっている。

**Q 5 貴施設では、障がい者の利用のために以下の施設や設備を整備・確保していますか。**  
(○はいくつでも)

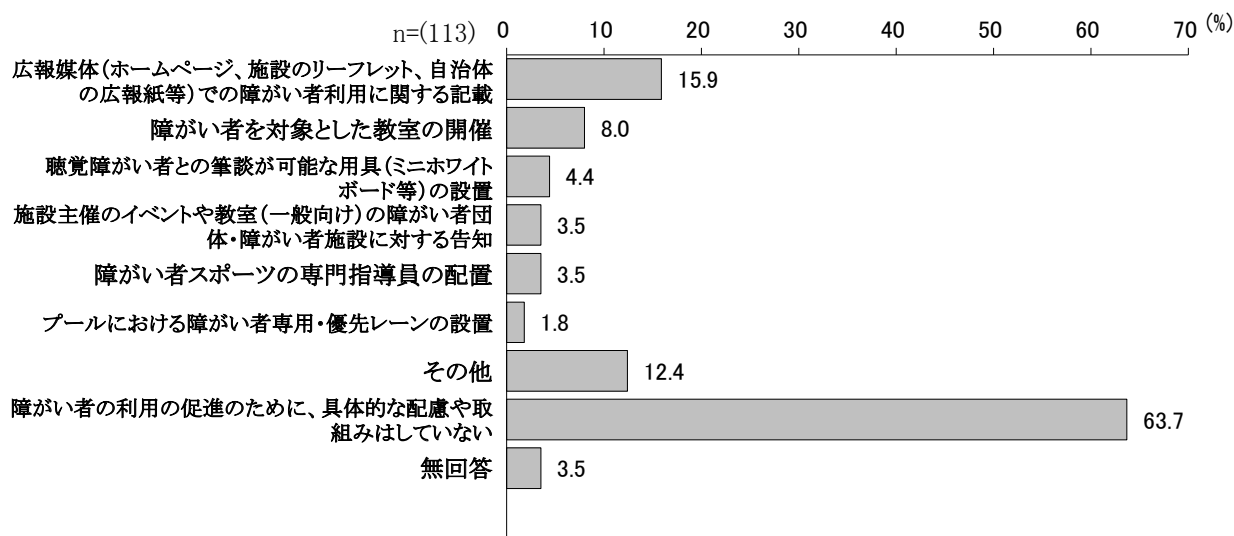
<全体>



障がい者の利用のための施設の整備・確保については、「障がい者トイレ(多目的トイレ)」が 79.6%と最も高く、次いで「障がい者用駐車スペース」(53.1%)、「視覚障がい者用の誘導ブロック・点字入り案内表示」(22.1%)、「車椅子利用者用のエレベーター」(21.2%)の順となっている。

**Q 6 貴施設では、障がい者の施設利用の促進のために、具体的な配慮や取組みをしていますか。(〇はいくつでも)**

<全体>

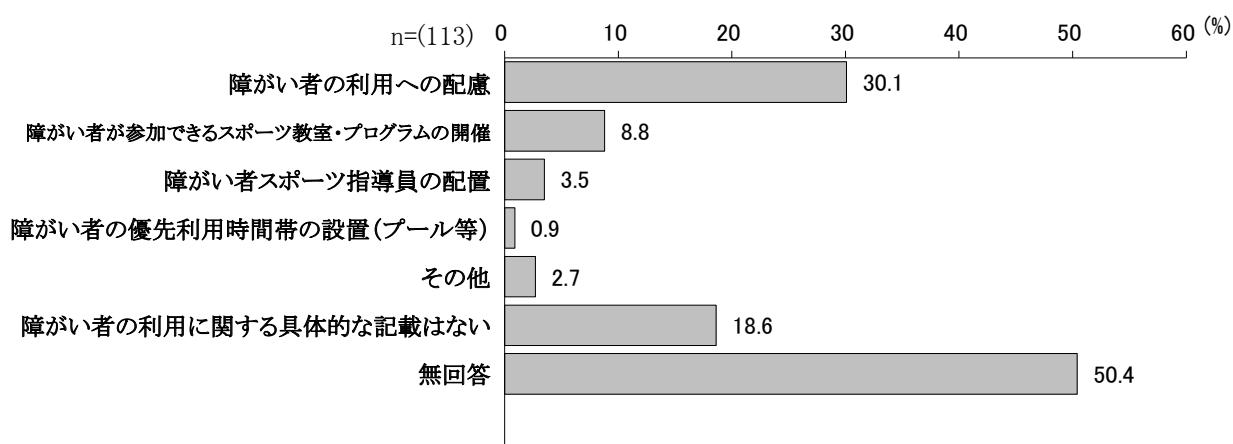


障がい者の施設利用促進のための具体的な配慮や取組みについては、「広報媒体(ホームページ、施設のリーフレット、自治体の広報紙等)での障がい者利用に関する記載」が 15.9%と最も高く、次いで「障がい者を対象とした教室の開催」(8.0%)、「聴覚障がい者との筆談が可能な用具(ミニホワイトボード等)の設置」(4.4%)の順となっている。一方で、「障がい者の利用の促進のために、具体的な配慮や取組みはしていない」は 63.7%となっている。

【指定管理者が運営している施設に対しておたずねします】

Q 7 貴施設の指定管理者の仕様に記載されている、障がい者の利用に関する具体的な内容についてお答えください。(〇はいくつでも)

<全体>



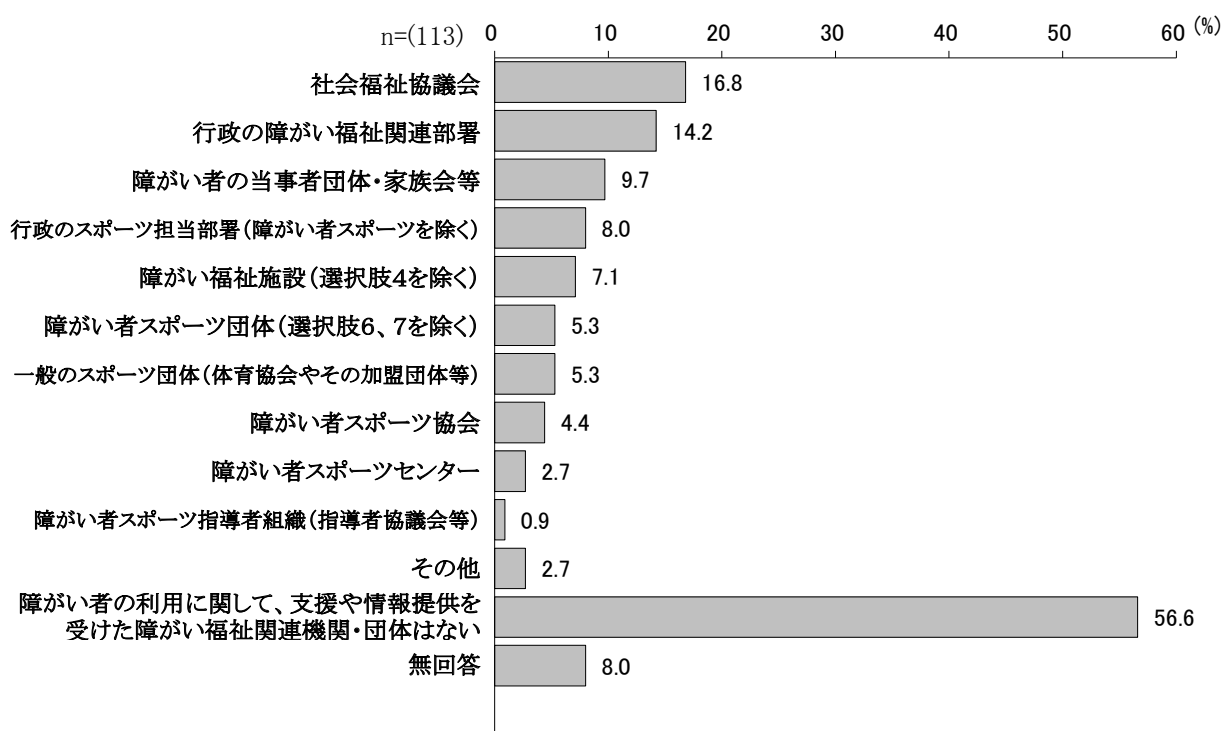
貴施設の指定管理者の仕様に記載されている、障がい者の利用に関する具体的な内容については、「障がい者の利用への配慮」が30.1%と最も高く、次いで「障がい者が参加できるスポーツ教室・プログラムの開催」(8.8%)、「障がい者スポーツ指導員の配置」(3.5%)、「障がい者の優先利用時間帯の設置(プール等)」(0.9%)の順となっている。



【すべての施設におたずねします】

Q 8 貴施設における障がい者の利用に関して、支援や情報提供を受けた組織・団体があればお答えください。(〇はいくつでも)

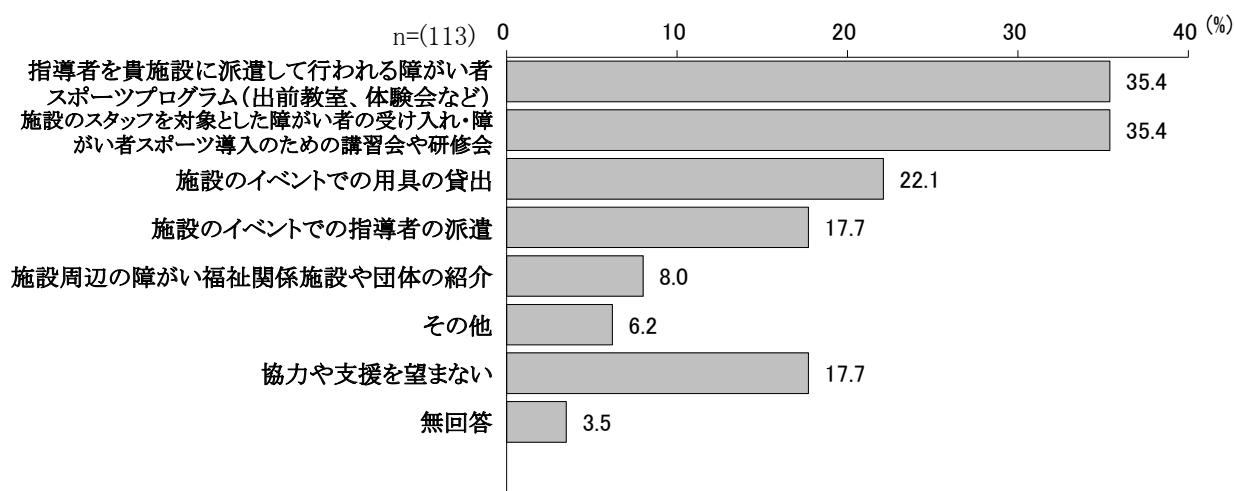
<全体>



障がい者の利用に関して、支援や情報提供を受けた組織・団体については、「社会福祉協議会」が 16.8%と最も高く、次いで「行政の障がい福祉関連部署等」(14.2%)、「障がい者の当事者団体・家族会等」(9.7%)、「行政のスポーツ担当部署(障がい者スポーツを除く)」(8.0%)の順となっている。一方で、「障がい者の利用に関して、支援や情報提供を受けた障がい福祉関連機関・団体はない」は 56.6%となっている。

**Q9** 2016年4月に施行される障がい者差別解消法によって、公共施設において、障がい者の利用に対する一層の配慮が求められるようになります。これを受けた対応として、貴施設では、都道府県障がい者スポーツセンター、障がい者スポーツ協会および障がい者スポーツ指導者協議会から協力や支援が得られるとすれば、具体的にどのような協力や支援を望みますか。(〇はいくつでも)

<全体>



各種障がい者団体からの協力や支援については、「指導者を貴施設に派遣して行われる障がい者スポーツプログラム(出前教室、体験会など)」「施設のスタッフを対象とした障がい者の受け入れ・障がい者スポーツ導入のための講習会や研修会」がそれぞれ35.4%と最も高く、次いで「施設のイベントでの用具の貸出」(22.1%)、「施設のイベントでの指導者の派遣」(17.7%)、「施設周辺の障がい福祉関係施設や団体の紹介」(8.0%)の順となっている。

## (2) 障がい者スポーツセンターの施設管理者へのヒアリング

施設 1 長野県障がい者福祉センター（サンアップル）

調査日程 : 平成27年11月26日（木）

### 1. ヒアリングメモ

#### 1) 施設を利用してもらうための工夫

- ・学校卒業後の「運動機会」の提供を目的に、長野県全域の特別支援学校、盲学校、聾学校の高校3年生を対象に、利用促進を図るための通知での周知および当事者、保護者に対して説明会を10年前から行なっている。地域の関係者の間では衆知の事実として認識されている。・隣接しているリハビリテーションセンターと連携し、当事者に対して教室を実施。その後の受け皿として、施設を利用してもらっている。
- ・一般の医療機関からの紹介で来る（施設を利用する）ケースもある。
- ・福祉センター協議会（B型）（運動施設のない場所）で施設の周知をさせてもらっている。
- ・サンアップルでは、スポーツ（運動）の機会だけでなく、文化交流のためのイベントを年間を通じて、行なっている。今まで、この施設を知らなかった層や運動とはかけ離れた層が文化活動イベントを通じて、この施設を知り、運動を始める人もいる。交流・憩い場にもなっている。
- ・当施設の施設名が「福祉センター」であるため、スポーツができる場所と連想できない人も多い。認知度を上げることが大切。

#### 2) 施設利用時の工夫（新規含む）

- ・新規利用者には、受付時に「利用証申込書」を記載し、提出してもらう。必要事項を記載してもらうが、障がい当事者の全ての情報を聞いた方がいいが、全部、聞いた場合、こちらも対応できないケースがある。最低レベルでの聞き取り内容となっている。現在の「利用証申込書」はそのような理由から、試行錯誤しながら作られたもの。その他、「スポーツ健康相談問診票」「リハビリセンター入所者問診票」など対象者別に情報収集を行ない、看護師や指導員が必要に応じて、健康相談や運動相談など適宜、行なっている。
- ・プールの一人利用は、危ないケースが多いので、介助・保護者をつけてもらっている。
- ・プール利用の際には、入退水、プール内での歩き方など指導を行う。
- ・基本、指導員は「見守る」姿勢で臨んでいる。あまり、過保護にせず、何かあったときに、手の届く範囲（距離感）が大事。すぐには身につくものではないので、ある程度、経験を積まないと身につかない。
- ・一般の公共体育施設の職員が、障がい者を受け入れたときに、困ったケースが発生した場合、相談窓口があると良いのではないかと思います。

### 3) 情報をどう活用しているか

- ・再度、運動を始めた人や肢体不自由の方が＋アルファで障害が加わって内容が変わったときに活用。
- ・精神障害の人は、1年ごとに内容が更新されるので、毎年、看護師が面談を行なっている。
- ・高齢化に伴う障害の重度化が懸念される。
- ・この施設は、「通過施設」としていずれは地域社会へ戻って欲しいと思っている。

### 4) 安全な利用に関するマニュアルの整備

- ・規定集はあるが、障害別のマニュアルは整備していない。障害と行っても千差万別で、一概にマニュアル化できない。逆にマニュアルに縛られすぎても、実際の現場では役に立たないことが多い。マニュアルに縛られる危険性が高い。施設利用上の注意・留意点は、規定集の中にある。
- ・プールにおける監視員は対向線に配置されている。
- ・プールのレーンに入る際に、レベルに応じた誘導をさりげなく行ない、互いが気持ちよく運動できるよう配慮している。

### 5) 施設の特徴

- ・スポーツだけでなく、文化交流の場としても活用できるよう設計されている。「文化ホール」や「展示会スペース等、運動（スポーツ）に縁のない層にも、この施設を知ってもらう機会を提供している。
- ・文化イベントに参加した人が運動を始めた例も数多くある。また、その逆もあり、双方向の交流により、憩いの場となっている。
- ・施設内はバリアフリーが施されている。廊下の幅も広く、音声案内、文字情報、点字、家族更衣室、あらゆる場所に設置されている。また、運動器具を収納するスペースが通常の2倍あり、車椅子10台、チェアスキーなどが収められており、整理整頓がされていた。
- ・プールは電光掲示板、タッチパネルなど一般の施設と比較しても遜色のない設備を備えている。・施設職員の名前の表示は、ひらがな表記にして知的障がい者にも認識できるよう配慮している。
- ・廊下など歩行する場所には、大人の高さと子どもの高さと2本設置されている。

### 6) 人材育成において留意点

- ・声をかける（コミュニケーションを大事にしている）。
- ・学会など積極的に参加して、場数を踏むことにより、プレゼン能力を高める、また、日頃、お付き合いのない方と交流することにより視野の拡大を図っている。
- ・知識も大事であるが、まずは人を受け入れる際の態度や姿勢を大事にしている。

## 施設 2 大阪市長居障がい者スポーツセンター

調査日程：平成 27 年 12 月 1 日（火）

### 1. ヒアリングメモ

#### 1) 新規事業に参加してもらう（施設を利用してもらう）ためのきっかけ

- ・今年度、精神障害者の方々を対象にしたフットサル教室を始めた。日頃、精神障害者の個人利用も増えてきているが、センター利用者の方々が、急にフットサル教室に参加できる雰囲気ではなかったため、フットサル教室を始めるにあたって、最初、大阪市内の事業所や施設に教室に関する周知（開催案内チラシ配布）を行った。その後、フットサル教室の参加者（20 名）を見ると、日頃、センターを利用していない人が半数ぐらいおり、チラシを見て参加した人が多かった。
- ・どこでセンターを知ったのか分からないが、非常に見学者が増えている。最近、見学者対応が増えている。先ほどの事例にもあった精神障害者への対応（開催案内チラシ配布）の影響も出ているのではないかとと思われる。
- ・特に見学に来る人は身体障害者の方が多い傾向がある。身体障害者の度合いは、特に偏ったことはなく様々である。また、ご家族で来るケースが多い。
- ・特別支援学校の授業への協力依頼によって、センターの職員が出張授業のような形で行くことで繋がりができた。センターの存在を知るきっかけにはなっていると思われるが、影響力は定かではない。また、個人利用に結びついているかは分からない。
- ・全国障害者スポーツ大会の大阪市の知的のバスケットチームの監督が支援学校の先生であることもあり、そのつながりで支援学校の生徒がセンターをよく利用することがある。
- ・大阪市は支援学校の先生が運営スタッフに入ってもらっている。
- ・利用者の傾向としては、どの年齢層も常連者が多くいる印象だが、一方で、毎日、違う人を館内で見かける印象もある。
- ・利用者の障害別の特徴を見ると、やはり肢体不自由の方々は年齢層が高い。逆に、精神障害の方々は若い人（30 代～40 代）が多い。精神障害者は増えている傾向がある。
- ・初めて来られた方で、どのような障害をお持ちなのか聞けないケースがある。
- ・新しく来た方で、筋力トレーニングなど一般の公共施設を利用して、使い慣れている方がいる。

#### 2) 施設利用時の工夫・対応

- ・プール室では、視覚障がい者優先レーンを 1 コース設けているが、視覚障がい者のプール利用が重なることが多々ある。そのような場合は、レーンを縦割りにし、一方通行で使用してもらっている。その方法が利用者間で定着しているので、特にトラブルにはならないが、初めて利用する視覚障がい者もいるので、レーンの説明に加え、泳力等もチェックしながら使用しても

らっている。

- ・プール室内で（水中、プールサイド等）、障がいによって、唾を吐くことが癖になっている人や、咀嚼、嚥下障がい等で嘔吐してしまうケースがあるが、頻繁に起こる場合には、洗面器やバケツを貸し出し、衛生面に配慮しながらも継続して利用ができるように、柔軟に対応している。
- ・体育室の個人利用の際に、複数組の人が様々な使い方をするので、コートを2分割するセンターネットに加え、コートを縦にも仕切れるネットを設置し、計4分割できるようにしている。それにより、限られた個人利用の時間で、より多くの人が利用できるようにしている。

### 3) 受付時での工夫・対応（個人利用）

- ・初回利用時には、まず障害者手帳の提示を義務付けている。それ以降は、「利用カード」を作成、提示することで、手帳の提示はなくても利用可能となる。  
利用カードの申請には、「障害種別」、「等級」等を書く欄がある。
- ・大阪ではあまり個人情報を「聞けない」、「聞かない」風潮もあり、介助者の必要性や看護師との面談等、初めて来た人への情報収集（聞き取り）は、積極的には行わない（利用する中で、少しずつ現場で聞き取りしていく）。
- ・定期的に利用される（リピーター）中で注意すべき人がいた場合、スポーツ相談等で「案内したこと」、「指導内容」、「体調具合」を書いた用紙を職員同士で共有をしている。
- ・相談事業として、理学療法士によるリハビリ相談、医師による医事相談（内科・外科）を行っている。
- ・個人での利用者は、団体競技にはなかなか入りづらい場合もあるので、その個人が現在行なっている内容や興味等を職員が聞くなど行い、他の教室（プログラム）も選択肢として促している。
- ・カルテのようなものはないが、水泳の指導歴（引継ぎノート）のようなものはある。指導内容以外の注意事項は、その内容を確認するなどして職員が情報共有を図るようにしている。また、施設の連絡簿があり、利用者（個人情報）の注意事項などをメモ（メモ書き）に残して、職員同士の情報共有を図っている。
- ・利用カードには全てを伝えきれないので、実際に利用状況を見ながら（観察）、個人の特徴を見極めている。個人の情報は、利用者とのコミュニケーションや観察をとおして時間をかけて確認し、情報を引き継いでいくシステム。（経験を継承している）
- ・職員の研修は、1回／月を基本に実施。内容はいろいろ多岐にわたる。講習系や実技系などにニーズに応じて内容を精査する。研修の内容を決める際は事前に職員にアンケートを取っている。

### 4) 人材育成の留意点

新規職員の研修のための業務マニュアルはある。しかしながら、日々の利用者との対応では、実はマニュアルに書いてあることだけでは間に合わない、当てはまらないケースも多い。利用者の障害はもちろん、それぞれのスポーツへの取り組み方や考え方等でも対応は変わることもある

ため、厳密な意味でのマニュアルは存在しない。現場で体験し、個別に対応しながら知識を積み上げていくことを大事にしている。

## 5) 施設の特徴

- ・長居障がい者スポーツセンターは、昭和 49（1974）年 5 月、日本で初めての障がい者のためのスポーツ施設として開館。
- ・利用の対象は原則として障がい者。施設利用料は、障がい者及び介助者 1 名までは無料。・駅からのアクセスも良く、多くの障がい者の自立した利用を可能にしている。施設では、日々、多くの障がい者が来館し、施設内の様々なところで施設職員と利用者とのコミュニケーションが見られる。
- ・日々の施設のスポーツ利用の他、各種スポーツ教室（施設内、出張型）、各種スポーツ大会を開催。その他交流会等の文化事業、障がい者スポーツ研修会やサポートスタッフ講習会も実施している。
- ・施設の 1 階中央には大きいホールをとっており、そこを中心にプールや体育室、トレーニング室などの各運動室を配置。利用者が迷う事が無く、目的地に行ける様に各施設の配置にも工夫がされている。
- ・2 階へはスロープか円形のエレベーターで行く事が可能。エレベーターは車椅子がカゴ内で方向転換して正面を向いて乗降ができる広さもあり、かつボタンの位置も低い位置に設置されている。
- ・トイレは十分な広さがあり、また車椅子対応のトイレも多く設備されている。

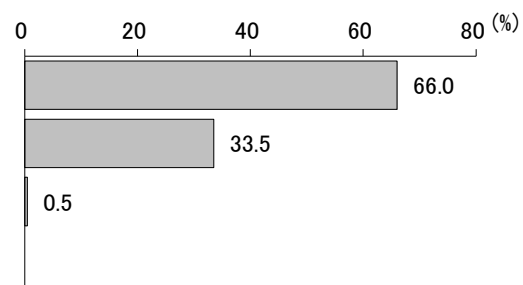
### (3) 障がい者スポーツセンター利用者への簡易アンケートによる現況調査

長野県障がい者福祉センター（サンアップル）と大阪市障がい者スポーツセンターの利用者のうち、障がいの種類、年代、性別を考慮して抽出した 200 名を対象とした。

調査は、それぞれの施設職員が利用者に直接聞き取る方法で行い、実施しているスポーツ種目、施設利用のきっかけ、公共スポーツ施設の利用経験や改善希望点などについて、アンケート調査を行った。

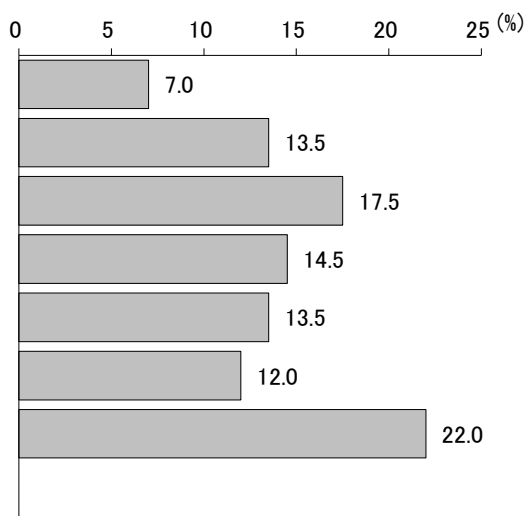
#### 性別

|     | 基数  | 構成比    |
|-----|-----|--------|
| 男性  | 132 | 66.0%  |
| 女性  | 67  | 33.5%  |
| 無回答 | 1   | 0.5%   |
| 全 体 | 200 | 100.0% |



#### 年代

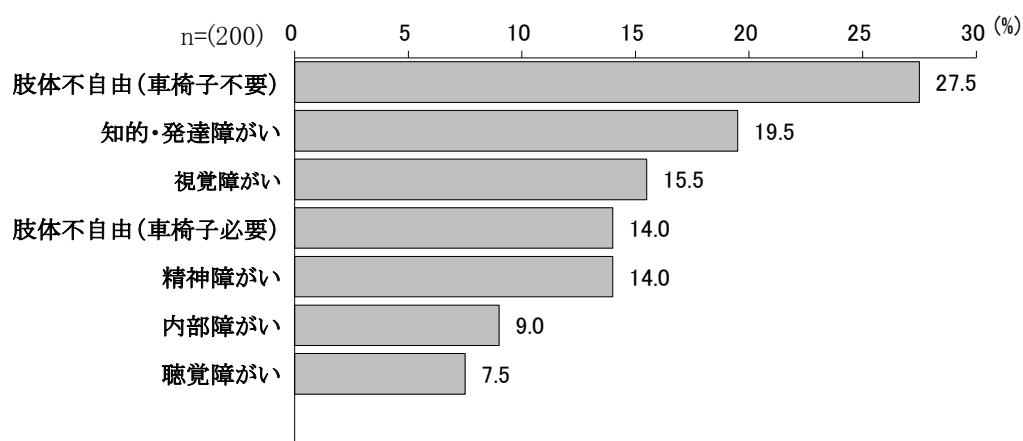
|      | 基数  | 構成比    |
|------|-----|--------|
| 10代  | 14  | 7.0%   |
| 20代  | 27  | 13.5%  |
| 30代  | 35  | 17.5%  |
| 40代  | 29  | 14.5%  |
| 50代  | 27  | 13.5%  |
| 60代  | 24  | 12.0%  |
| 70代～ | 44  | 22.0%  |
| 全 体  | 200 | 100.0% |





**障がいの種類（複数回答）**

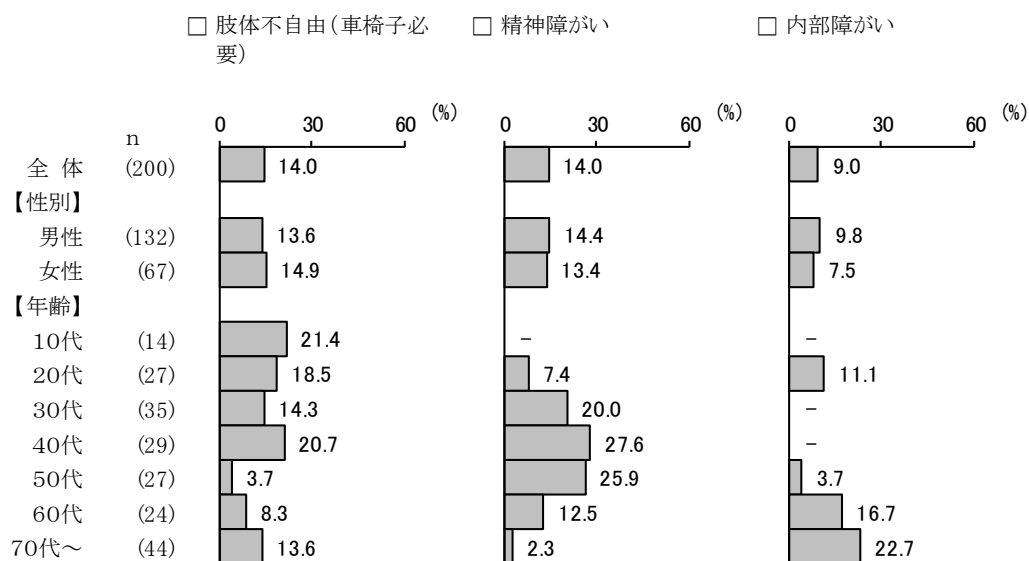
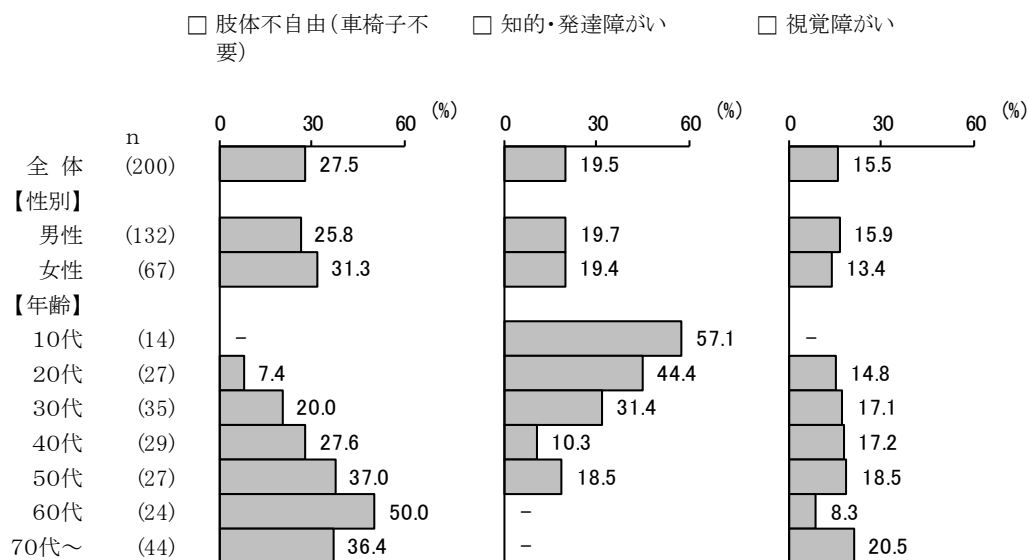
<全体>



障がいの種類については、「肢体不自由(車椅子不要)」が27.5%と最も高く、次いで「知的・発達障がい」(19.5%)、「視覚障がい」(15.5%)、「肢体不自由(車椅子必要)」 「精神障がい」(それぞれ14.0%)の順となっている。

# 障がい者スポーツセンター利用者簡易アンケート

## <性別、年齢別>



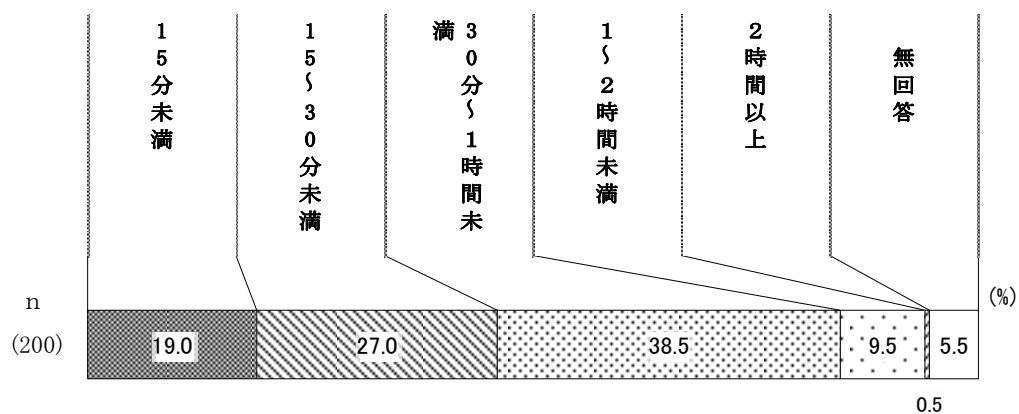
「肢体不自由(車椅子不要)」を性別でみると、女性の方が男性よりも 5.5 ポイント高くなっている。

「肢体不自由(車椅子不要)」を年齢別でみると、60 歳代で 50.0%と高くなっている。

「知的・発達障がい」を年齢別でみると、10 歳代で 57.1%と高くなっている。

### 自宅からの所要時間

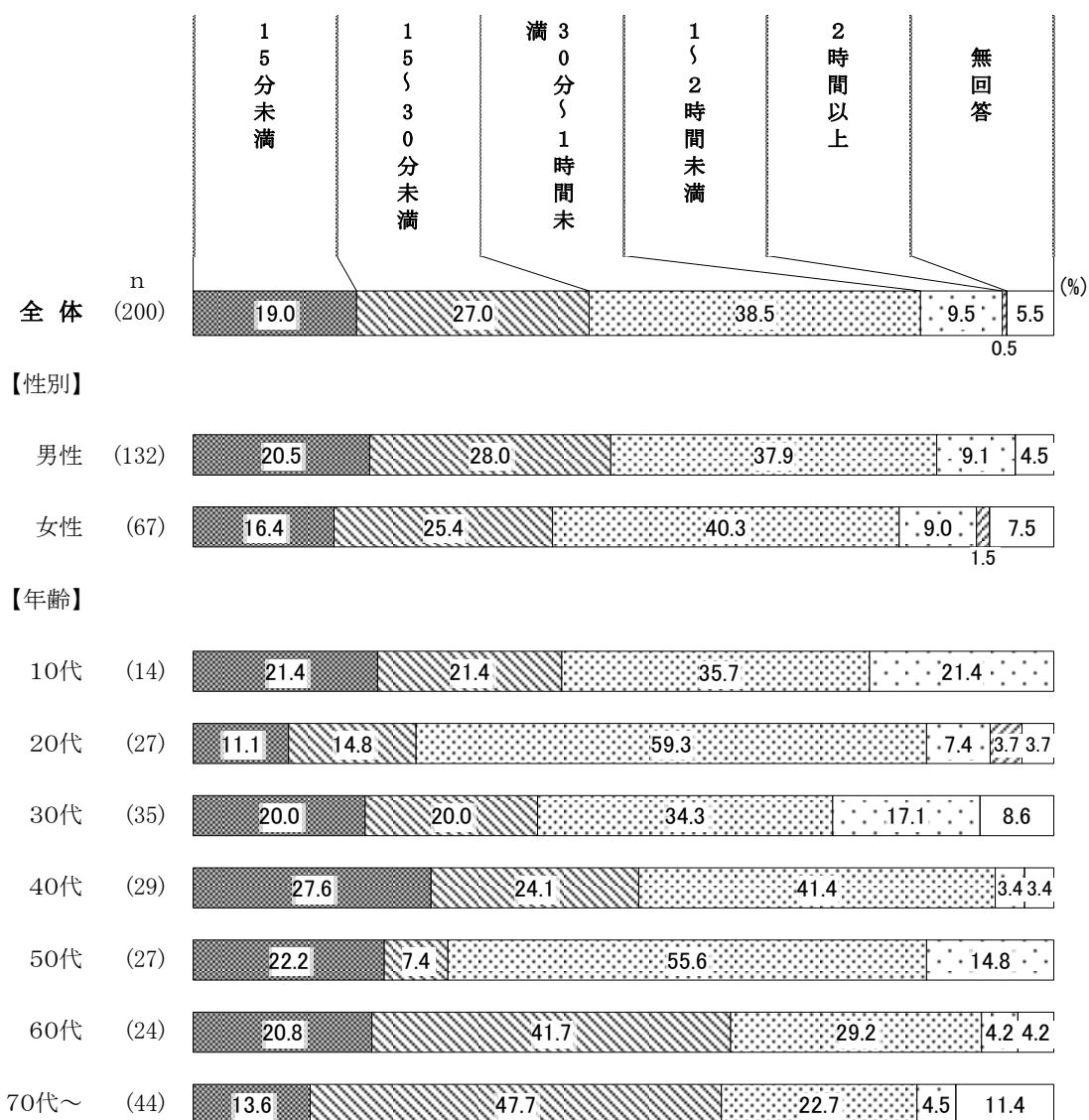
<全体>



自宅からの所要時間については、「30分～1時間未満」が38.5%と最も高く、次いで「15～30分未満」(27.0%)、「15分未満」(19.0%)、「1～2時間未満」(9.5%)の順となっている。

# 障がい者スポーツセンター利用者簡易アンケート

## <性別、年齢別>

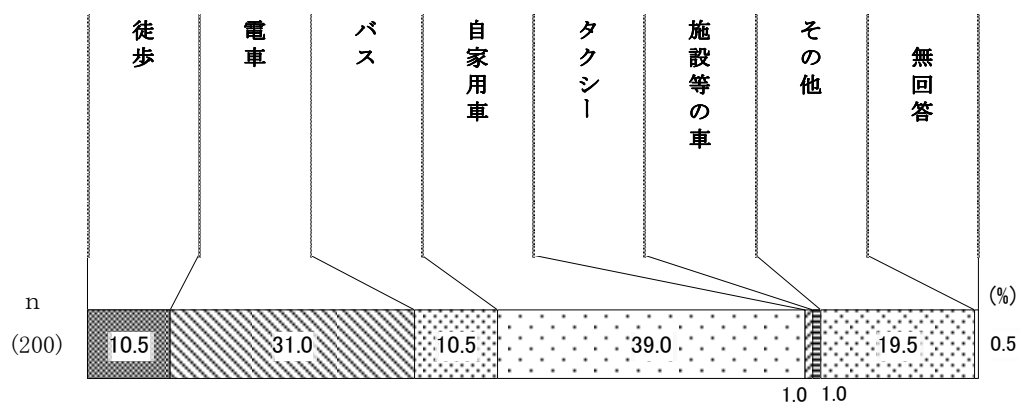


「30分～1時間未満」を性別でみると、女性の方が男性よりも2.4ポイント高くなっている。

「15～30分未満」を年齢別でみると、70歳代以上で47.7%と高くなっている。「30分～1時間未満」は20歳代で59.3%と高くなっている。

自宅からの移動手段（複数回答）

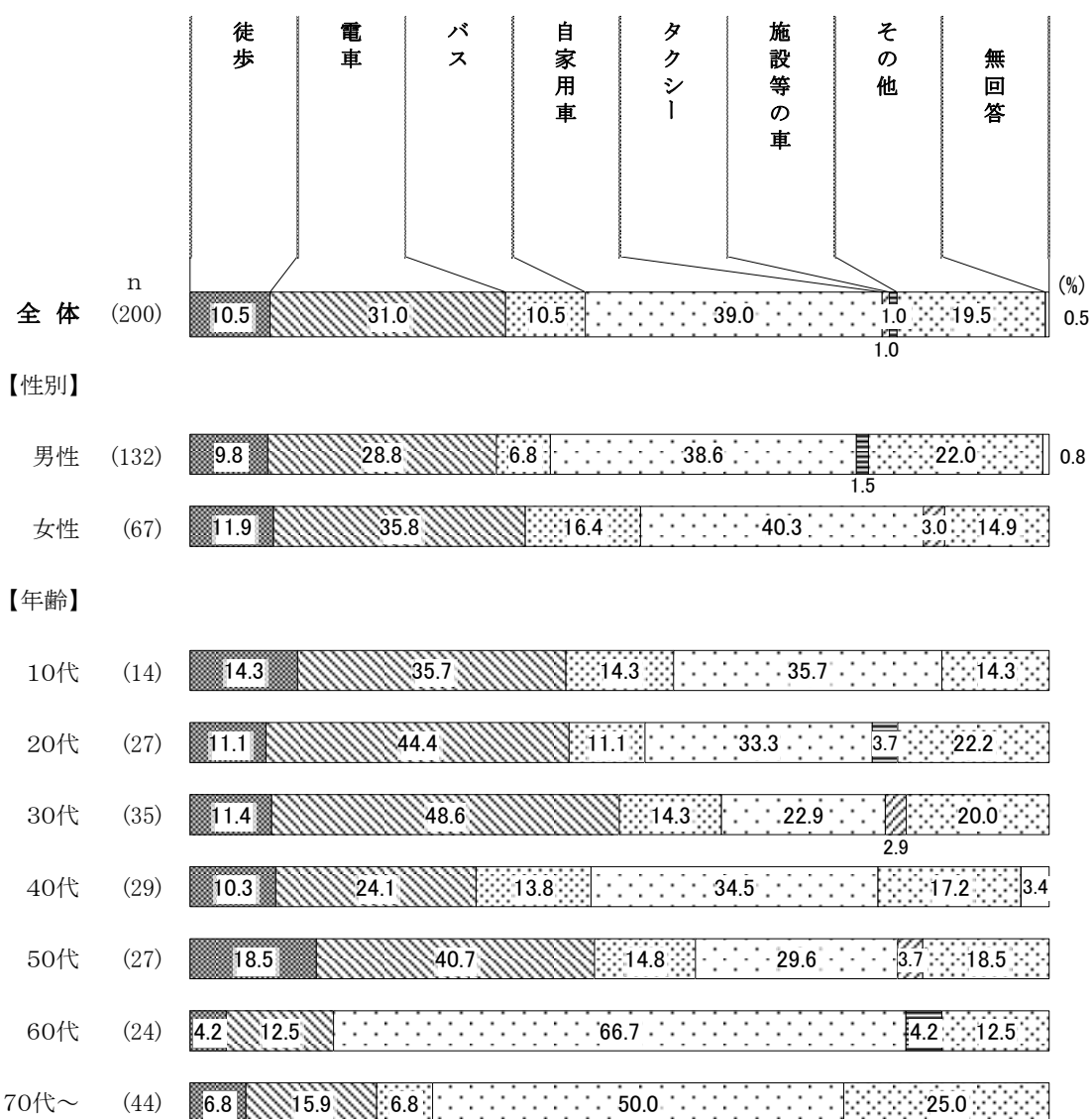
<全体>



自宅からの移動手段については、「自家用車」が 39.0%と最も高く、次いで「電車」(31.0%)、「その他」(19.5%)、「徒歩」「バス」(それぞれ 10.5%) の順となっている。

# 障がい者スポーツセンター利用者簡易アンケート

## <性別、年齢別>

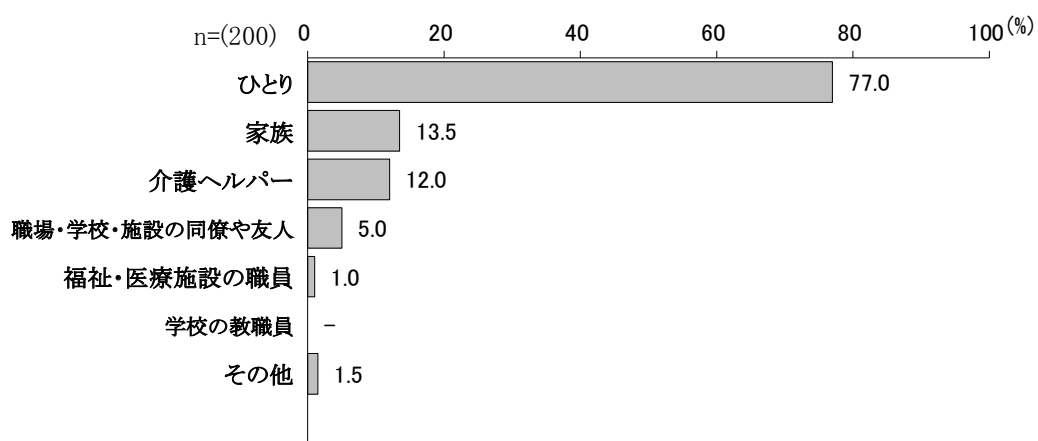


「電車」を性別でみると、女性の方が男性よりも7.0ポイント高くなっている。

「自家用車」を年齢別でみると、60歳代で66.7%と高くなっている。「電車」は30歳代で48.6%と高くなっている。

**日頃、誰と来ていますか？（複数回答）**

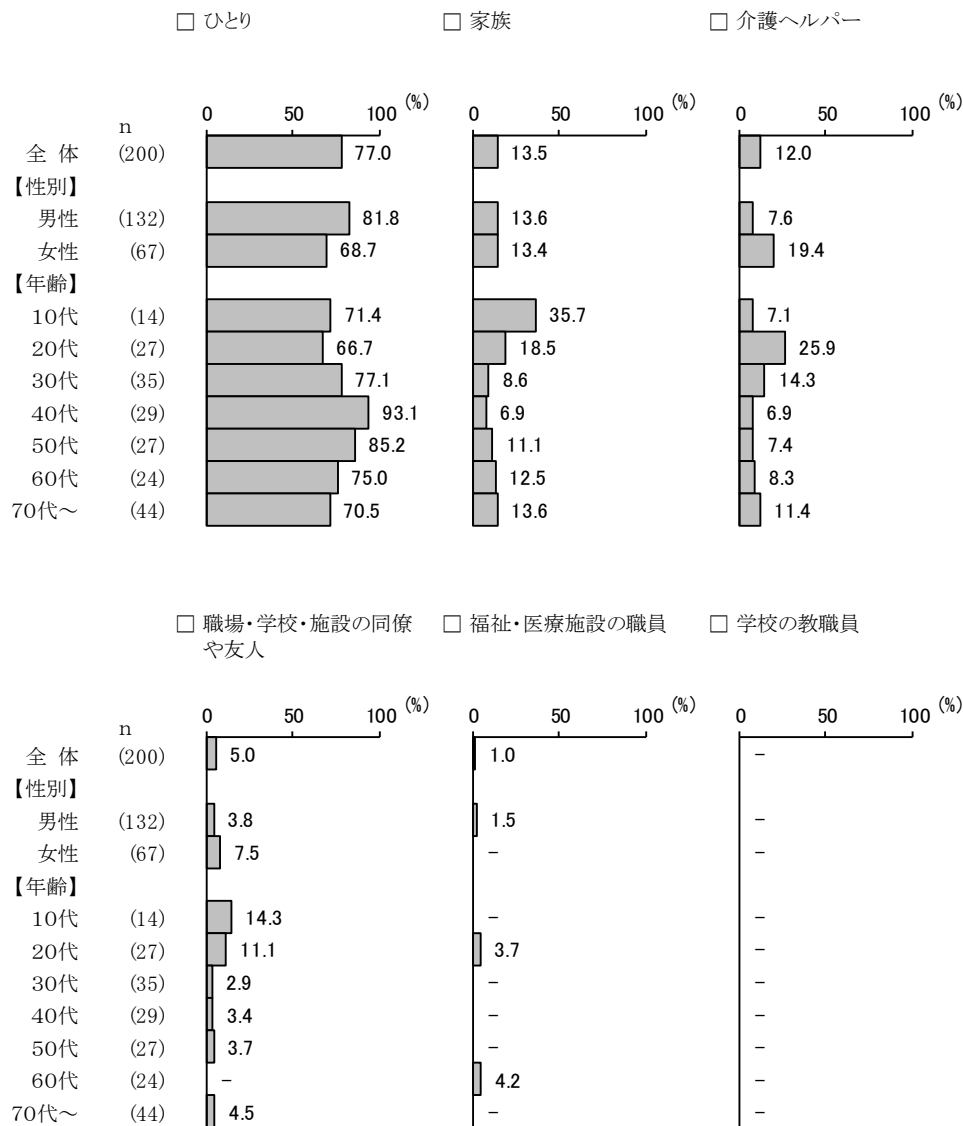
<全体>



日頃、一緒に来る人については、「ひとり」が77.0%と最も高く、次いで「家族」(13.5%)、「介護ヘルパー」(12.0%)、「職場・学校・施設の同僚や友人」(5.0%)の順となっている。

## 障がい者スポーツセンター利用者簡易アンケート

### <性別、年齢別>



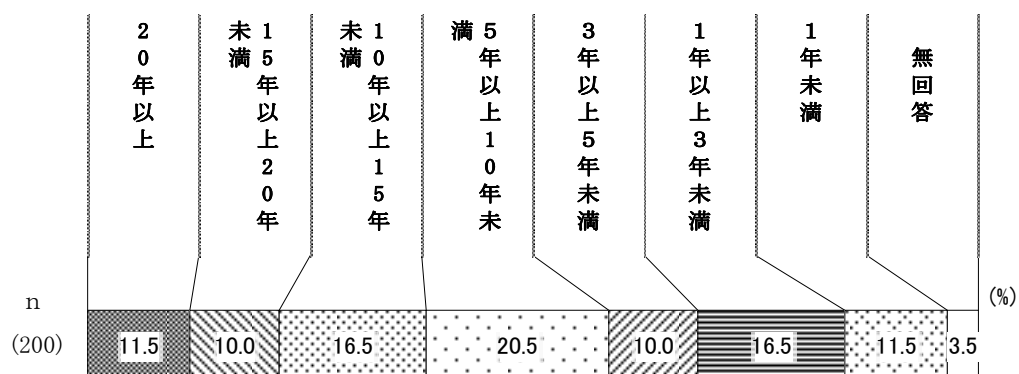
「ひとり」を性別で見ると、男性の方が女性よりも 13.1 ポイント高くなっている。  
「介護ヘルパー」は女性の方が男性よりも 11.8 ポイント高くなっている。

「ひとり」を年齢別で見ると、40 歳代で 93.1% と高くなっている。「家族」は 10 歳代で 35.7% と高くなっている。



# 当施設利用歴

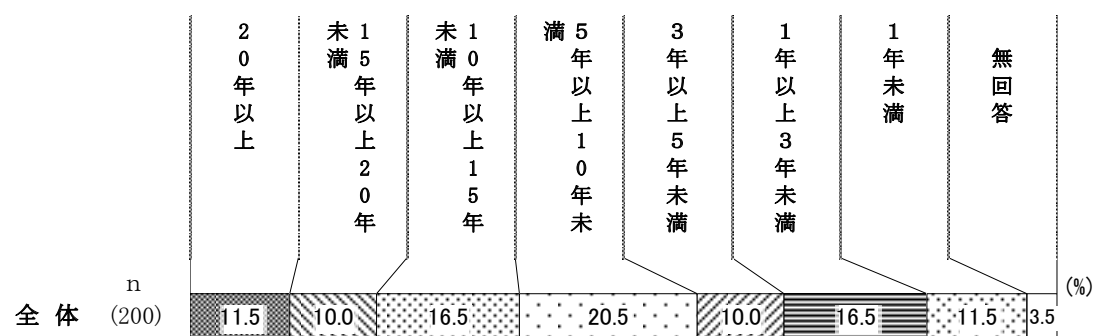
<全体>



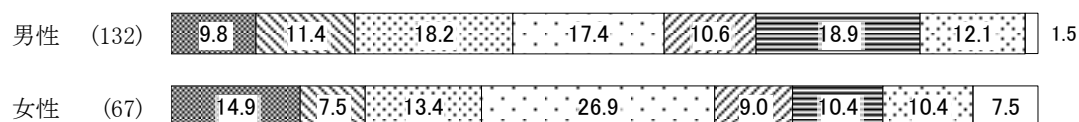
施設の利用歴については、「5年以上 10 年未満」が 20.5%と最も高く、次いで「10 年以上 15 年未満」「1 年以上 3 年未満」（それぞれ 16.5%）、「20 年以上」「1 年未満」（それぞれ 11.5%）の順となっている。

# 障がい者スポーツセンター利用者簡易アンケート

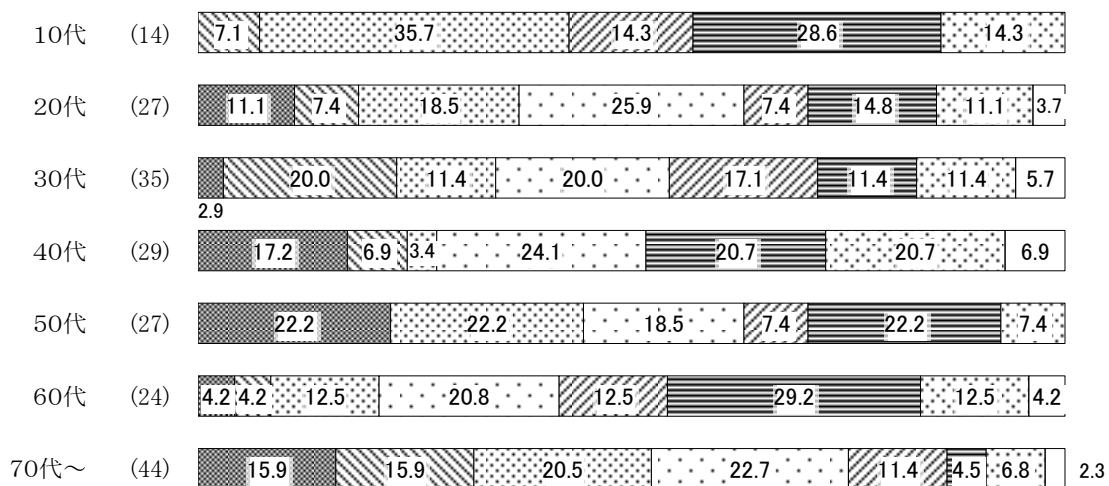
## <性別、年齢別>



### 【性別】



### 【年齢】

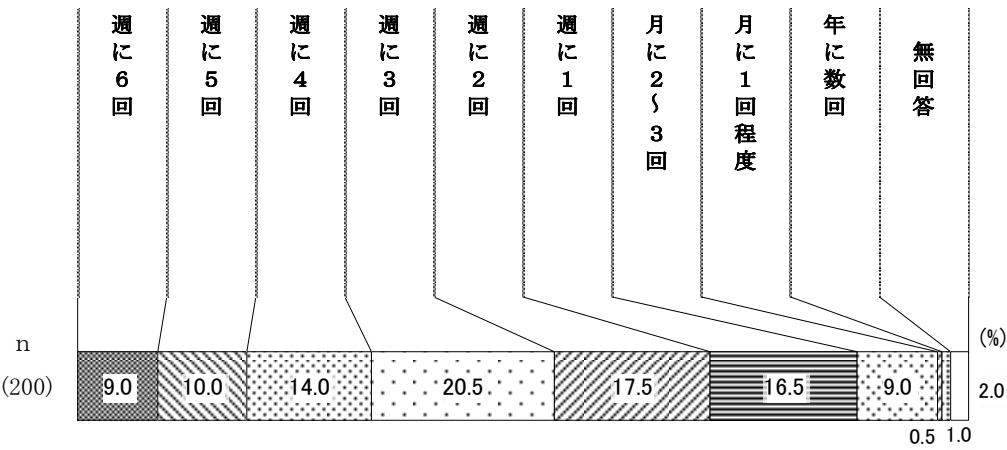


「1年以上3年未満」を性別でみると、男性の方が女性よりも8.5ポイント高くなっている。「5年以上10年未満」は女性の方が男性よりも9.5ポイント高くなっている。

「20年以上」を年齢別でみると、50歳代で22.2%と高くなっている。

**当施設利用頻度**

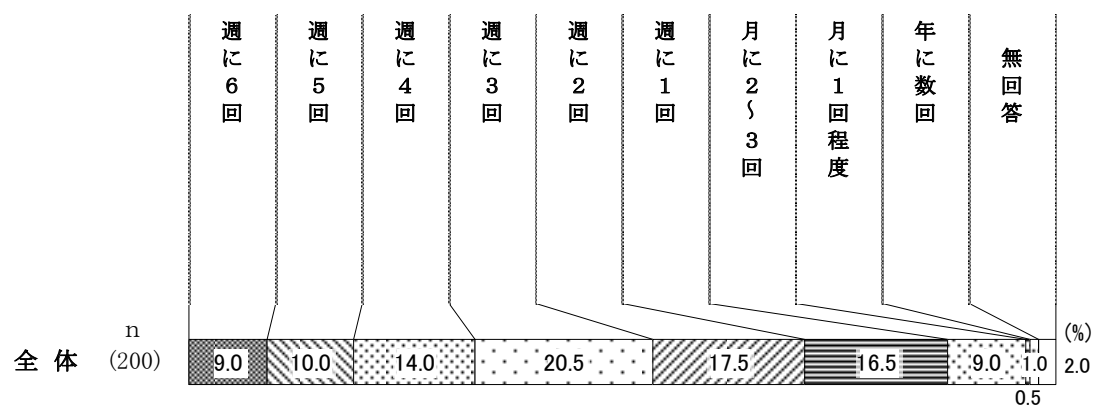
<全体>



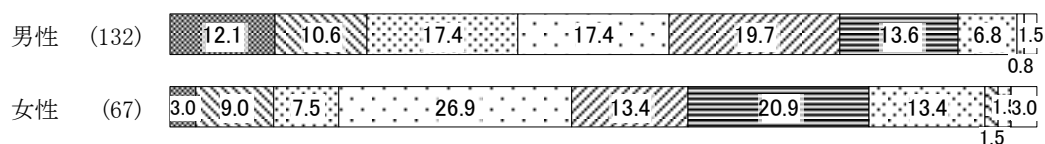
施設の利用頻度については、「週に3回」が20.5%と最も高く、次いで「週に2回」(17.5%)、「週に1回」(16.5%)、「週に4回」(14.0%)の順となっている。

# 障がい者スポーツセンター利用者簡易アンケート

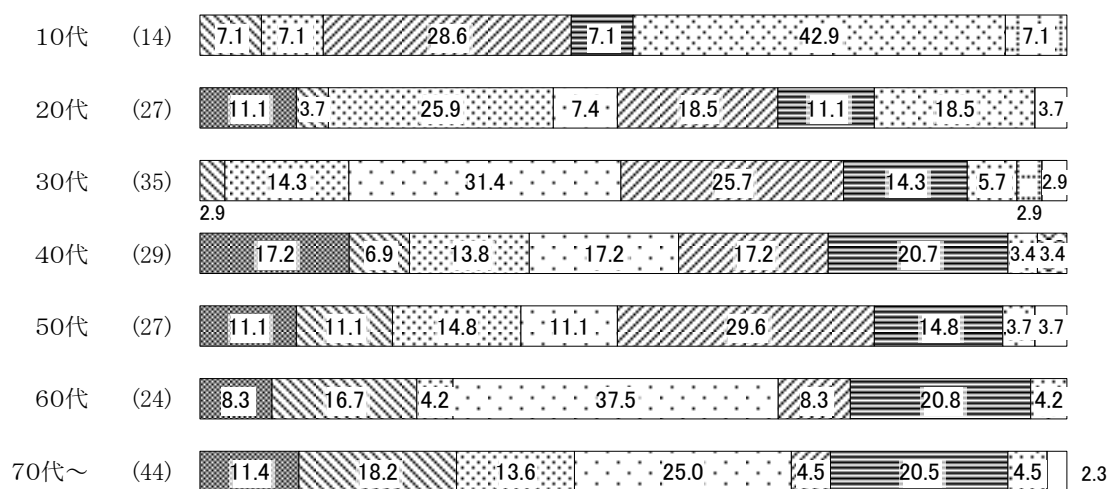
## <性別、年齢別>



### 【性別】



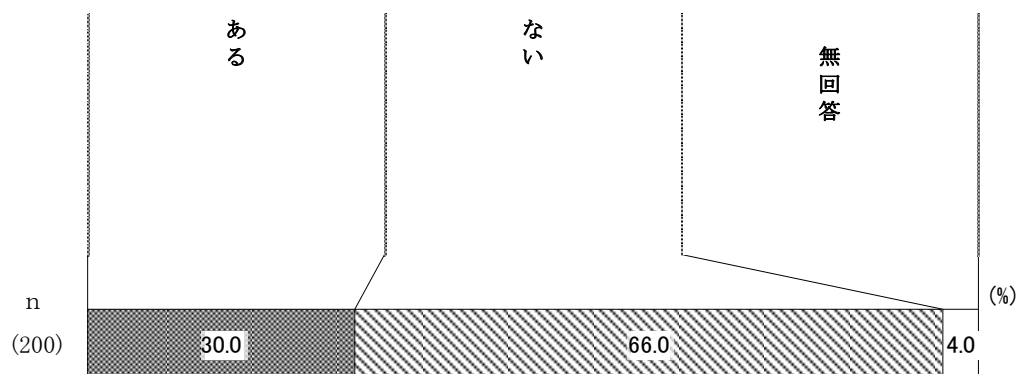
### 【年齢】



「週に3回」を性別でみると、女性の方が男性よりも9.5ポイント高くなっている。  
 「週に6回」は男性の方が女性よりも9.1ポイント高くなっている。  
 「週に3回」を年齢別でみると、60歳代で37.5%と高くなっている。「週に2回」は50歳代で29.6%と高くなっている。

当施設の他に、日常的に運動・スポーツに利用している公共スポーツ施設や学校施設はありますか？（単一回答）

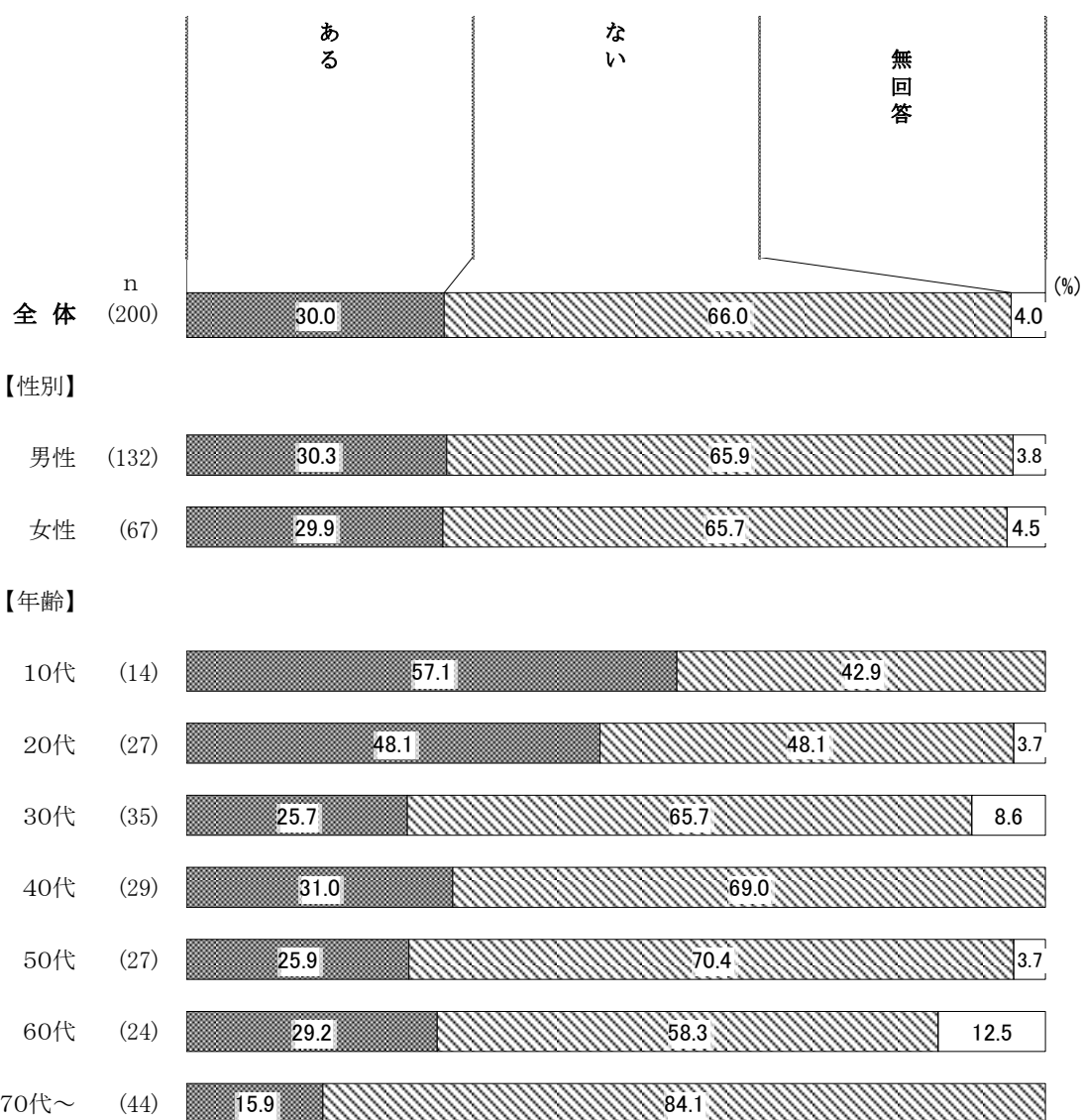
<全体>



当施設の他に、日常的に運動・スポーツに利用している公共スポーツ施設や学校施設の有無については、「ある」が 30.0%、「ない」が 66.0%となっている。

# 障がい者スポーツセンター利用者簡易アンケート

## <性別、年齢別>



性別でみると、男女間で大きな差は見られない。

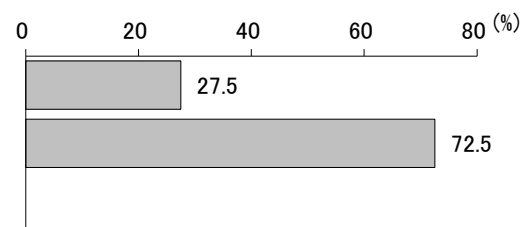
「ある」を年齢別でみると、10歳代で57.1%と高くなっている。「ない」は70歳代以上で84.1%と高くなっている。

#### (4) 障がい者スポーツ指導員に対する現況調査

秋田県、高知県、名古屋市、広島市の各県スポーツ指導者協議会を通じて、各県・市の障がい者スポーツ指導員（スポーツ協会やスポーツセンター職員は除く）のうち、中級および上級障がい者スポーツ指導員 40 名に対して、日常的な指導現場、公共スポーツ施設に必要と思われる改善点などについて、アンケート調査を行った。

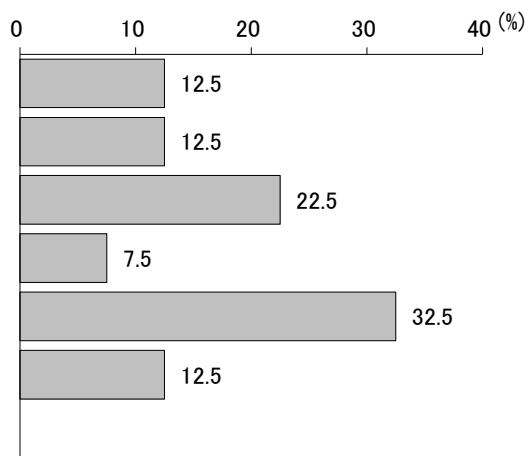
##### Q 1 性別について伺います。(〇は1つ)

|     | 基数 | 構成比    |
|-----|----|--------|
| 女性  | 11 | 27.5%  |
| 男性  | 29 | 72.5%  |
| 全 体 | 40 | 100.0% |



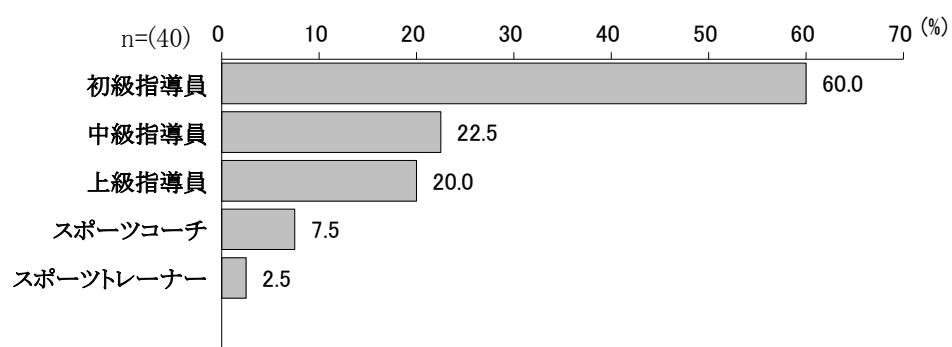
##### Q 2 年齢について伺います。(〇は1つ)

|      | 基数 | 構成比    |
|------|----|--------|
| 20歳代 | 5  | 12.5%  |
| 30歳代 | 5  | 12.5%  |
| 40歳代 | 9  | 22.5%  |
| 50歳代 | 3  | 7.5%   |
| 60歳代 | 13 | 32.5%  |
| 70歳代 | 5  | 12.5%  |
| 全 体  | 40 | 100.0% |



**Q 3 資格種別について伺います。(〇はいくつでも)**

<全体>

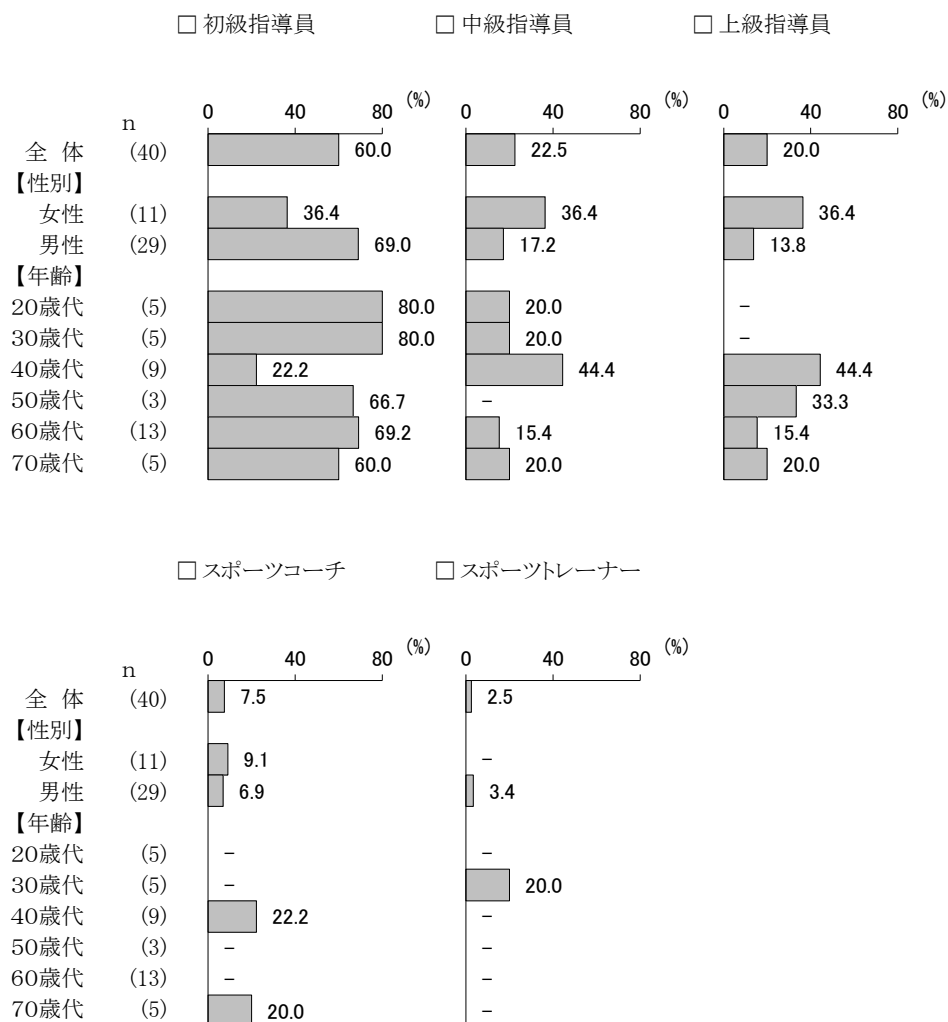


資格種別については、初級指導員が 60.0%と最も高く、次いで中級指導員 (22.5%)、上級指導員 (20.0%)、スポーツコーチ (7.5%)、スポーツトレーナー (2.5%) の順となっている。



# 障害者スポーツ指導者に関する調査

## <性別、年齢別>

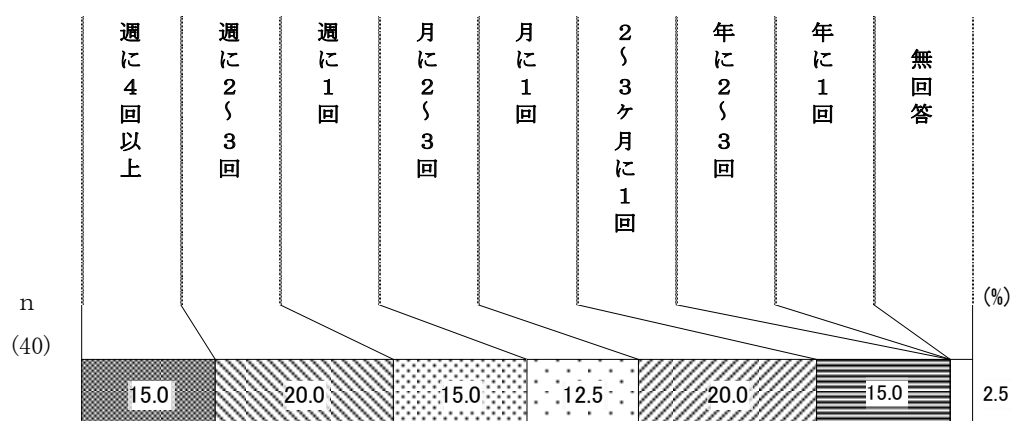


「初級指導者」を性別で見ると、男性の方が女性よりも 32.6 ポイント高くなっている。「中級指導員」は女性の方が男性よりも 19.2 ポイント高くなっている。

「初級指導者」を年齢別で見ると、20 歳代と 30 歳代がともに 80.0%と高くなっている。

**Q 4 過去1年間の指導回数はどのくらいですか。**

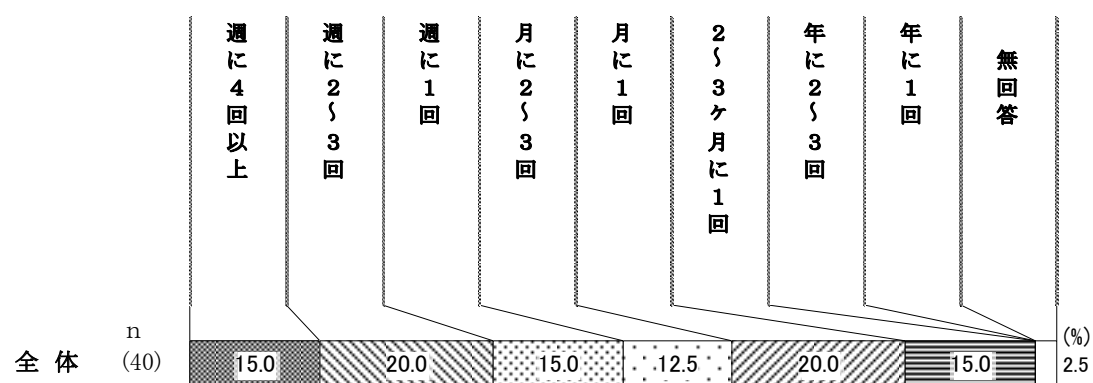
<全体>



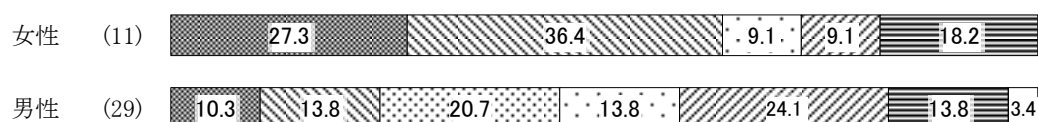
過去1年間の指導回数については、「週に2～3回」「月に1回」がそれぞれ 20.0%と最も高く、次いで「週に4回以上」「週に1回」「2～3ヶ月に1回」(それぞれ 15.0%)、「月に2～3回」(12.5%) の順となっている。

# 障害者スポーツ指導者に関する調査

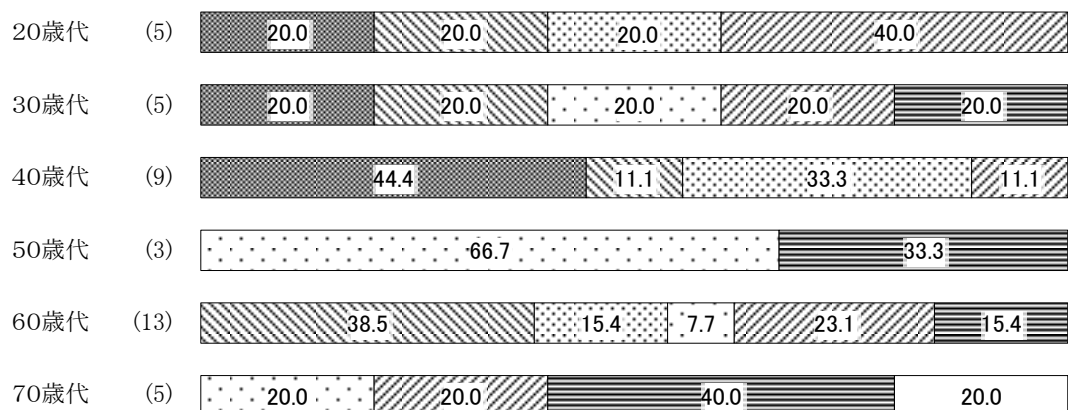
## <性別、年齢別>



### 【性別】



### 【年齢】

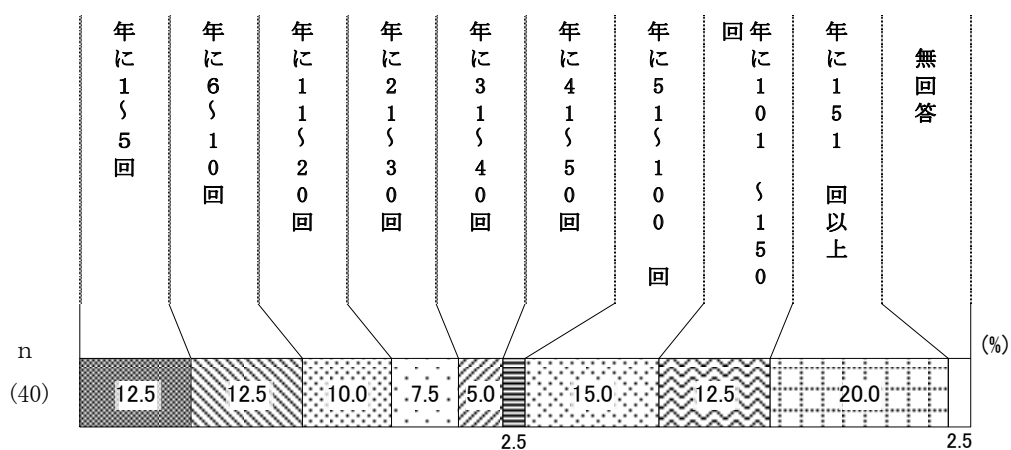


「週に2～3回」を性別で見ると、女性の方が男性よりも22.6ポイント高くなっている。「月に1回」は男性の方が女性よりも15.0ポイント高くなっている。

「週に2～3回」を年齢別で見ると、60歳代が38.5%と高くなっている。「月に1回」は20歳代が40.0%と高くなっている。

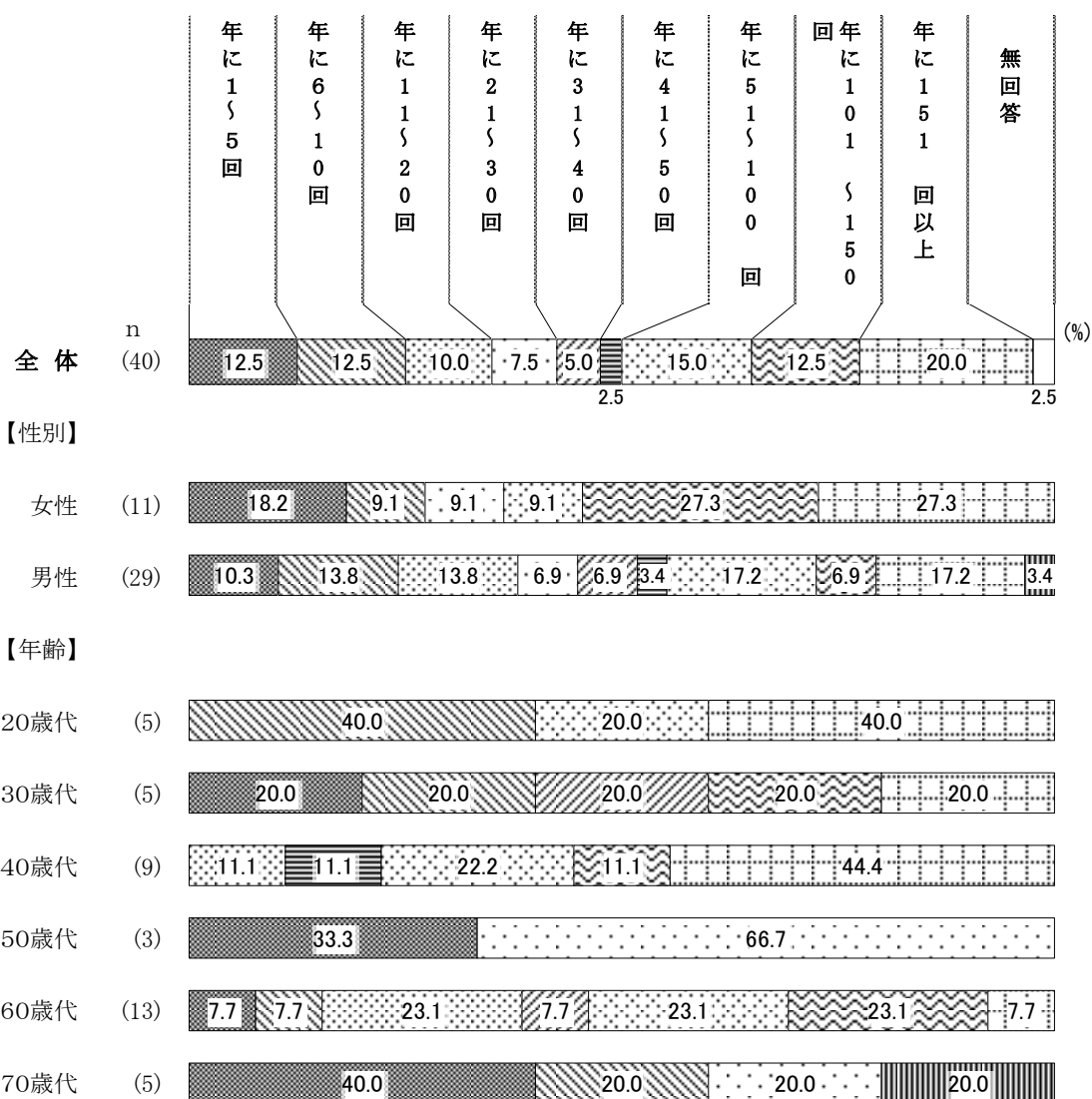
**Q 4 過去1年間の指導回数はどのくらいですか。**

<全体>



過去1年間の指導回数については、「年に151回以上」が20.0%と最も高く、次いで「年に51～100回」(15.0%)、「年に1～5回」「年に6～10回」「年に101～150回」(それぞれ12.5%)の順となっている。

<性別、年齢別>

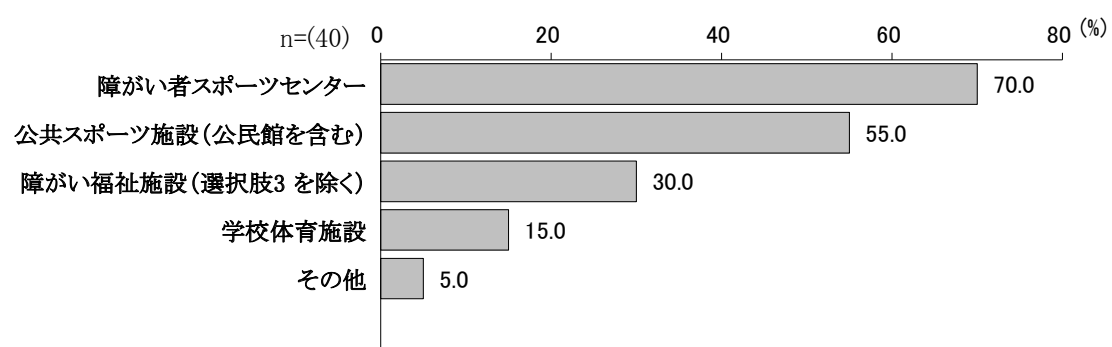


「年に151回以上」を性別で見ると、女性の方が男性よりも10.1ポイント高くなっている。「年に101〜150回」は女性の方が男性よりも20.4ポイント高くなっている。

「年に151回以上」を年齢別で見ると、20歳代と40歳代が4割を超えて高くなっている。「年に101〜150回」は60歳代が23.1%と高くなっている。

**Q 5 障がい者に対して、日常的にスポーツを指導する場所はどこですか。(〇はいくつでも)**

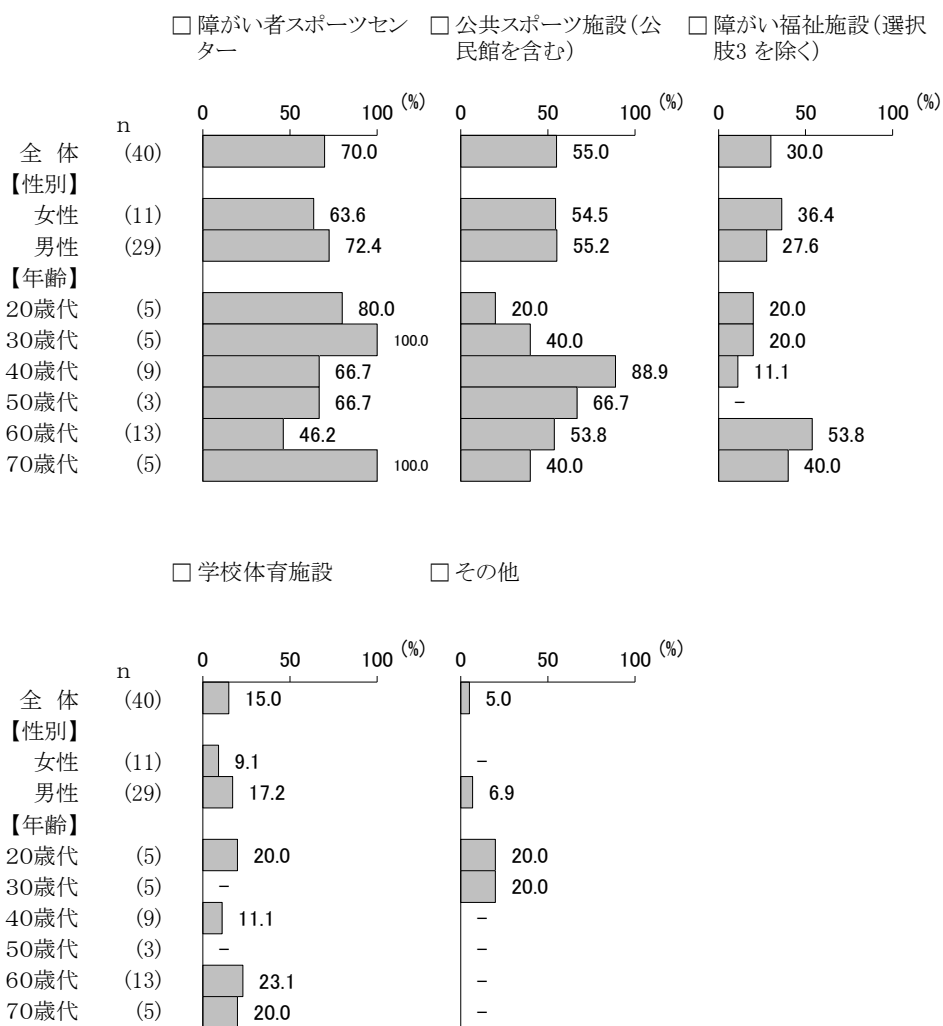
＜全体＞



障がい者への日常的な指導場所については、「障がい者スポーツセンター」が 70.0%と最も高く、次いで「公共スポーツ施設（公民館を含む）」（55.0%）、「障害福祉施設」（30.0%）、「学校体育施設」（15.0%）の順となっている。

## 障害者スポーツ指導者に関する調査

### <性別、年齢別>

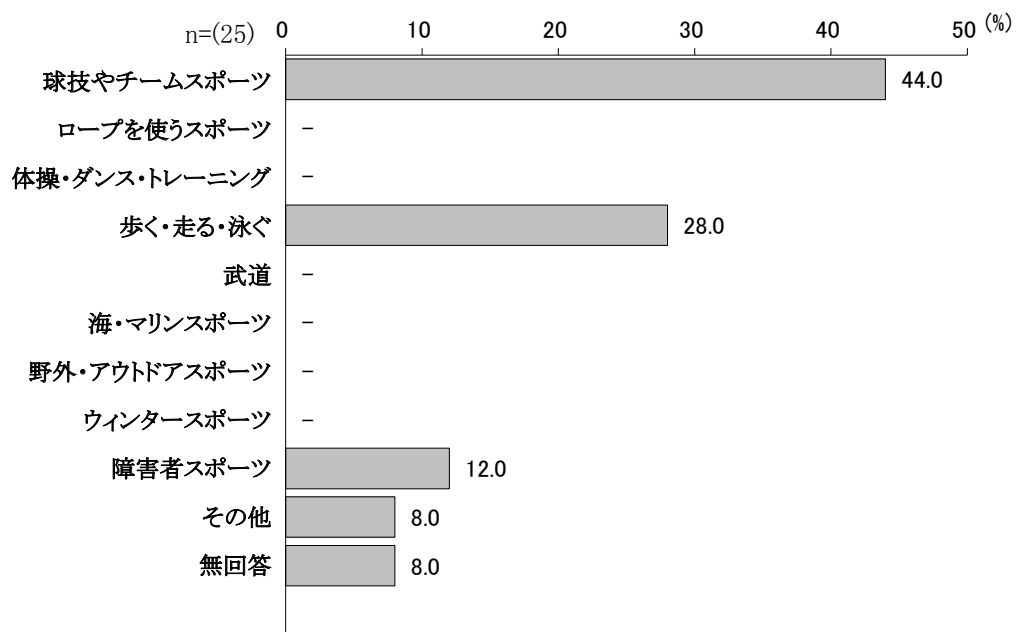


「障がい者スポーツセンター」を性別でみると、男性の方が女性よりも8.8ポイント高くなっている。「公共スポーツ施設(公民館を含む)」は性別で大きな差はみられない。

「障がい者スポーツセンター」を年齢別でみると、30歳代と70歳代が100.0%となっている。「公共スポーツ施設(公民館を含む)」は40歳代が88.9%と高くなっている。

【Q5で「1. 公共スポーツ」または「2. 学校体育施設」と回答した方にお尋ねします】  
**Q6 公共スポーツ施設または学校体育施設で指導している運動・スポーツ種目と障がい種別についてお答えください。**

<スポーツ種目 全体>

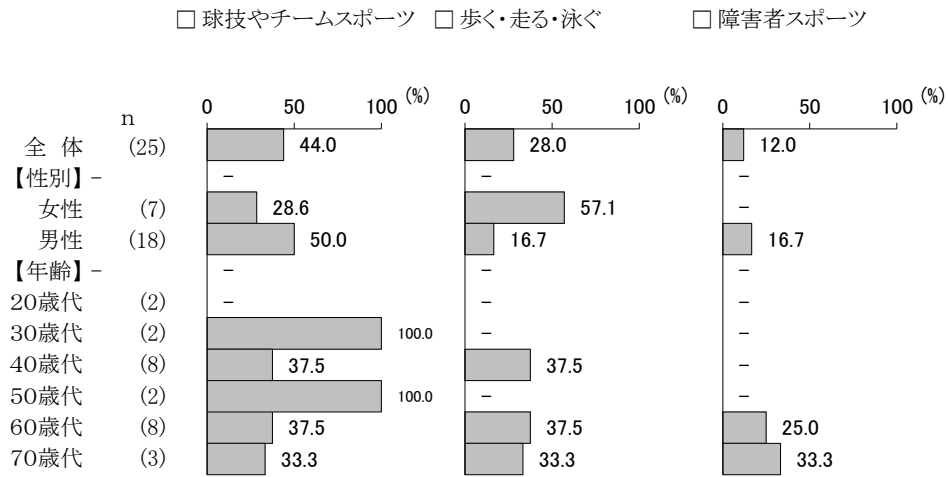


公共スポーツ施設または学校体育施設で指導している運動・スポーツ種目については、「球技やチームスポーツ」が44.0%と最も高く、次いで「歩く・走る・泳ぐ」(28.0%)、「障害者スポーツ」(12.0%)の順となっている。



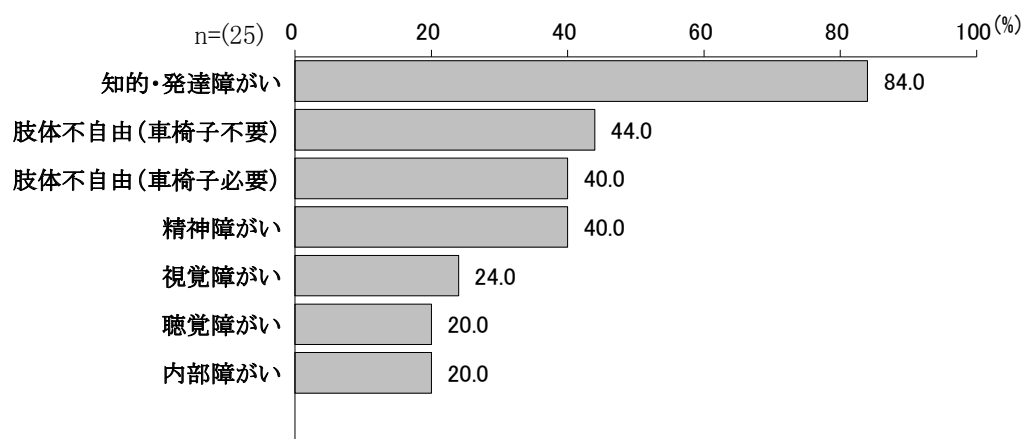
障害者スポーツ指導者に関する調査

＜スポーツ種目 性別、年齢別＞上位 3 項目



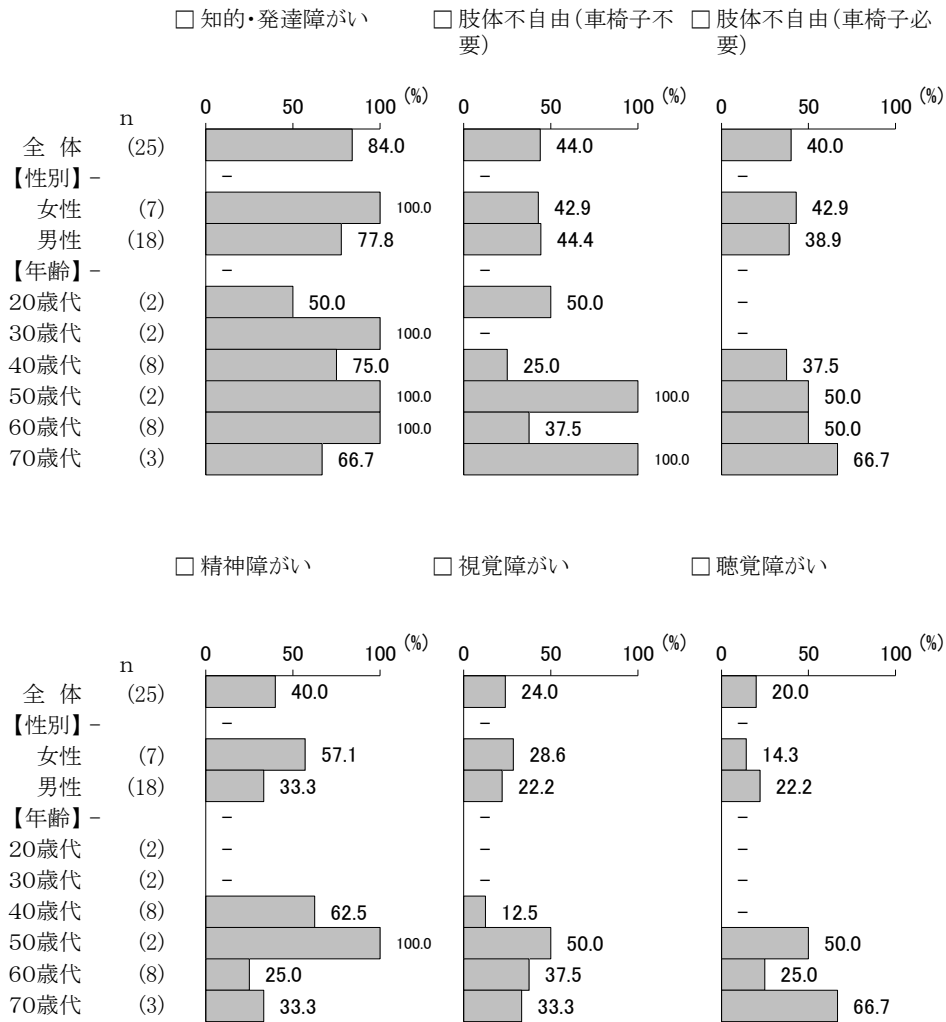
性別・年齢別はサンプル数が少ないため参考として表示するにとどめる。

＜障がい種別 全体＞



公共スポーツ施設または学校体育施設で指導している指導種目については、「知的・発達障がい」が84.0%と最も高く、次いで「肢体不自由（車椅子不要）」（44.0%）、「肢体不自由（車椅子必要）」「精神障がい」（それぞれ 40.0%）、「視覚障がい」（24.0%）、「聴覚障がい」「内部障がい」（それぞれ 20.0%）の順となっている。

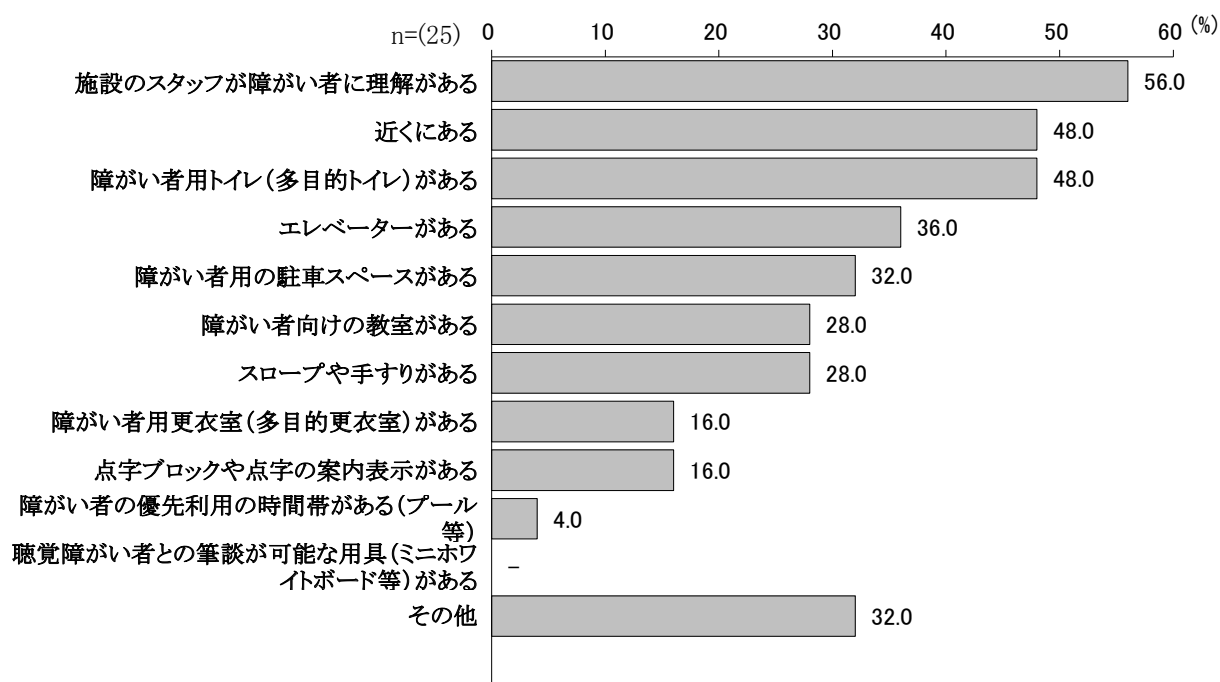
<障がい種別 性別、年齢別>上位6項目



性別・年齢別はサンプル数が少ないため参考として表示するにとどめる。

**Q 7 障がい者スポーツの活動に、公共スポーツ施設や学校体育施設を利用している理由をお答えください。(〇はいくつでも)**

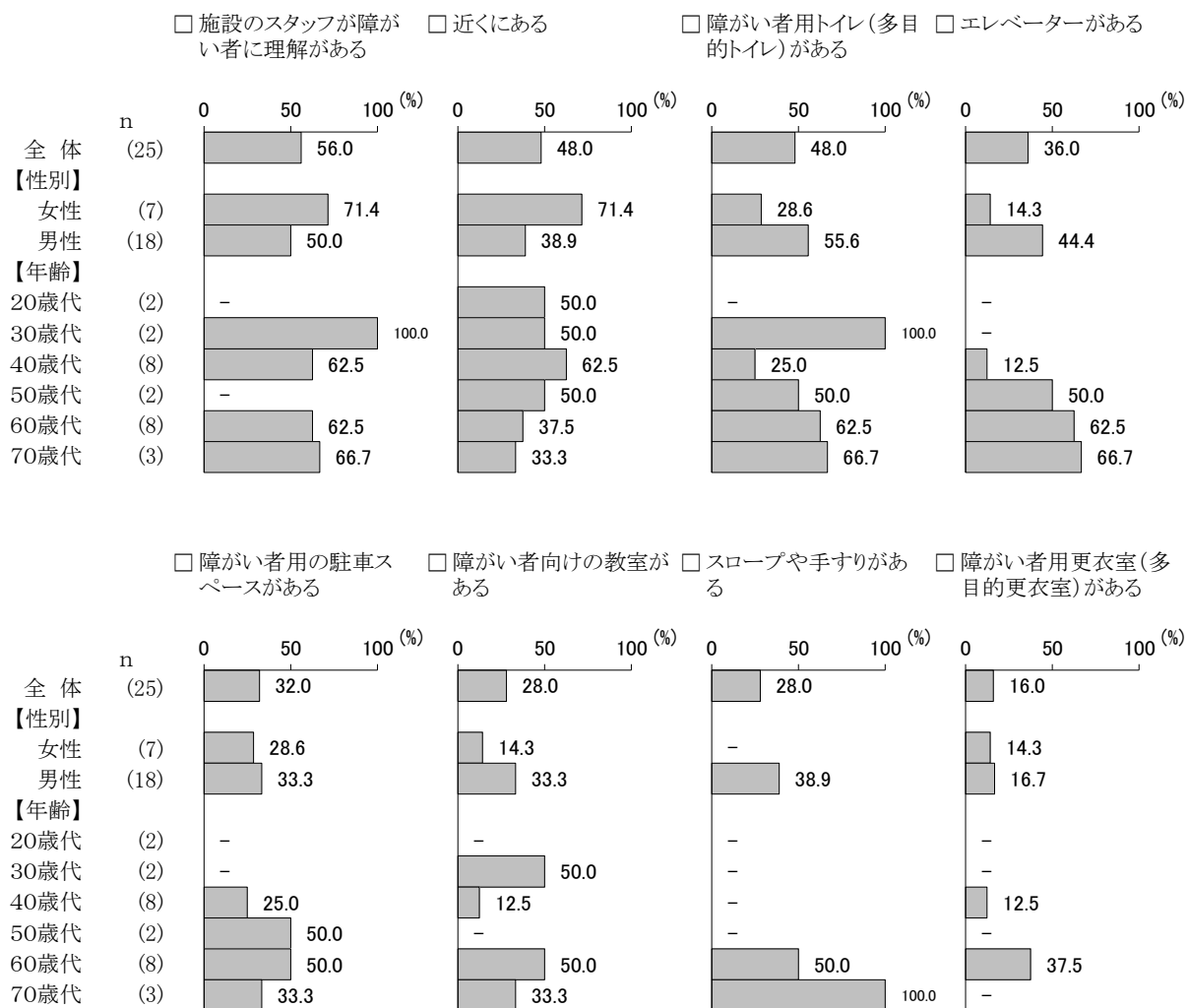
<全体>



公共スポーツ施設や学校体育施設を利用している理由については、「施設のスタッフが障がい者に理解がある」が56.0%と最も高く、次いで「近くにある」「障がい者用トイレ(多目的トイレ)がある」(それぞれ48.0%)、「エレベーターがある」(36.0%)、「障がい者用の駐車スペースがある」(32.0%)の順となっている。

## 障害者スポーツ指導者に関する調査

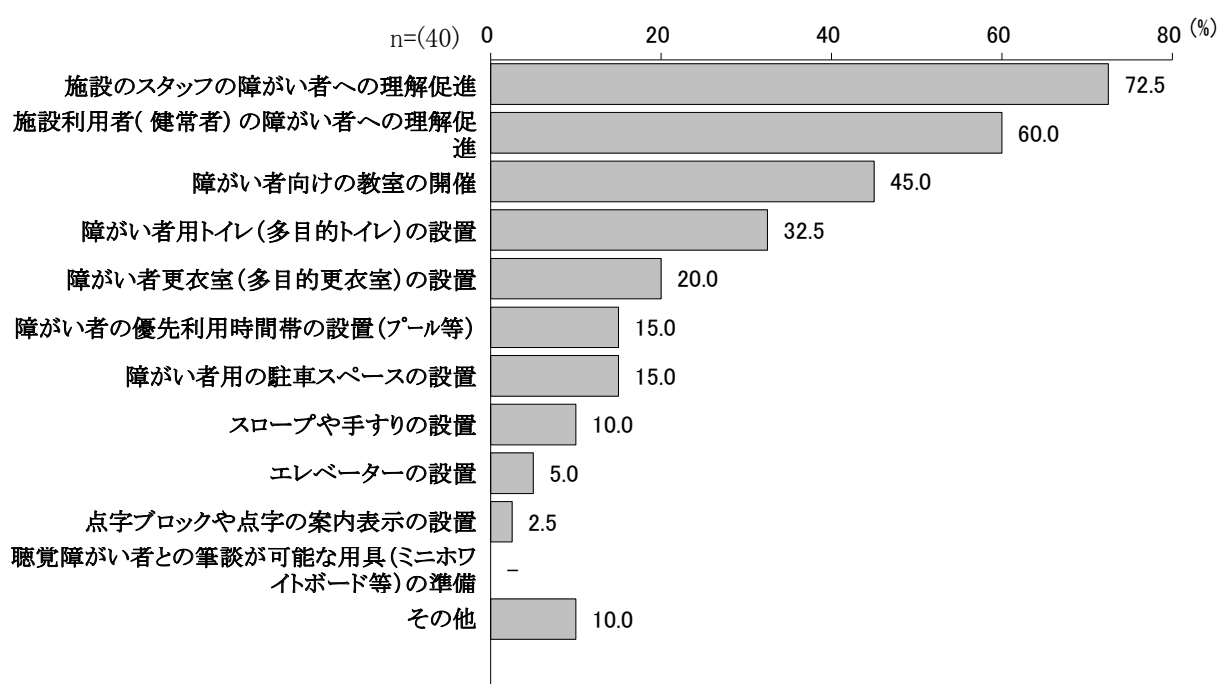
### <性別、年齢別>上位8項目



性別・年齢別はサンプル数が少ないため参考として表示するにとどめる。

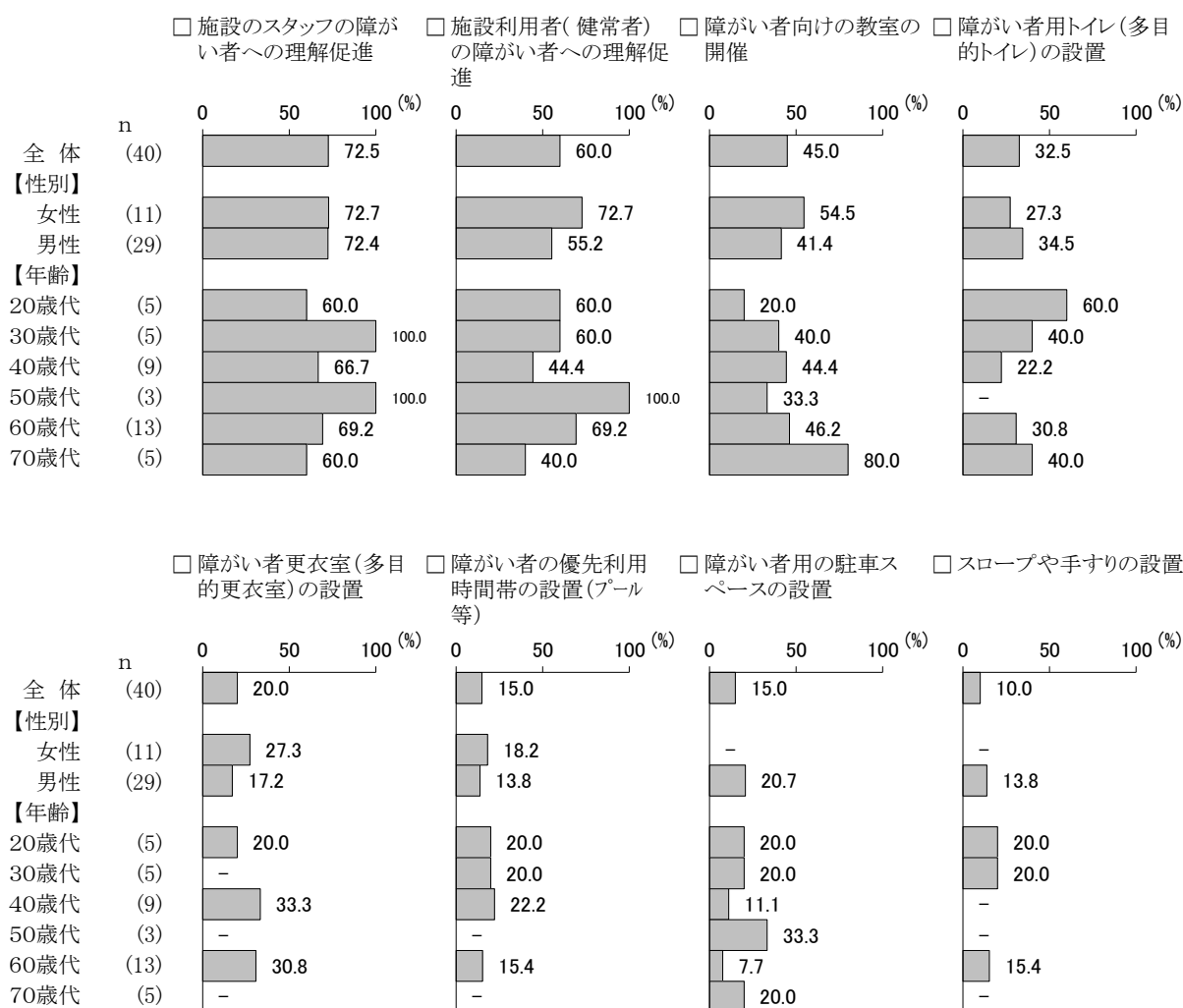
【Q 8 障がいのある人が、地域の身近な公共スポーツ施設や学校体育施設を利用して、日常的にスポーツをするようになるためには、特にどの点を優先的に改善する必要がありますか。（〇は3つまで）

<全体>



障がい者のスポーツ活動促進のために改善する必要があることについては、「施設のスタッフの障がい者への理解促進」が72.5%と最も高く、次いで「施設利用者（健常者）の障がい者への理解促進」（60.0%）、「障がい者向けの教室の開催」（45.0%）、「障がい者用トイレ（多目的トイレ）の設置」（32.5%）、「障がい者更衣室（多目的更衣室）の設置」（20.0%）の順となっている。

# <性別、年齢別>上位8項目



「施設のスタッフの障がい者への理解促進」は性別で大きな差はみられない。「施設利用者(健常者)の障がい者への理解促進」は女性の方が男性よりも17.5ポイント高くなっている。

「施設のスタッフの障がい者への理解促進」を年齢別でみると、30歳代と50歳代が100.0%となっており、それ以外の年代全てにおいても6割を超えて高くなっている。

## **2 調 査 票**

- (1) 公共スポーツ施設に関する調査**
- (2) 障がい者スポーツセンター利用者簡易アンケート**
- (3) 障がい者スポーツ指導者に関する調査**





## 公共スポーツ施設に関する調査

日本障がい者スポーツ協会では、障がいのある方が、身近な地域で運動・スポーツに親しむ機会を増やすための調査を行っています。この調査の一環で、日本体育施設協会加盟の施設を対象に、アンケートを実施することになりました。

アンケートの結果は、統計的に処理され、回答者（施設名）個人が特定されることはありません。調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

調査実施主体：（公財）日本障がい者スポーツ協会

調査協力団体：（公財）日本体育施設協会

本調査に関するお問い合わせ先  
 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会  
 スポーツ推進部 スポーツ推進課 小島・屋敷  
 TEL：03（5695）5420

【貴施設における平成26年度の障がい者の利用状況についてお答えください。】

Q 1－1 屋内施設における障がい者の利用はありましたか。

1. あった

2. 把握していない

Q 1－3 へ

▶ Q 1－2 屋内施設の利用内容をお答えください。

|   | 障がい者の利用が<br>あった施設 | 利用状況         | 実施競技・種目 | 障がい種別 |
|---|-------------------|--------------|---------|-------|
| 1 | 屋内プール             | 利用あり<br>利用なし |         |       |
| 2 | トレーニング室           | 利用あり<br>利用なし |         |       |
| 3 | 体育館               | 利用あり<br>利用なし | 1 ( )   |       |
|   |                   |              | 2 ( )   |       |
|   |                   |              | 3 ( )   |       |
| 4 | 武道場               | 利用あり<br>利用なし | 1 ( )   |       |
|   |                   |              | 2 ( )   |       |
|   |                   |              | 3 ( )   |       |
| 5 | その他 1<br>( )      | 利用あり<br>利用なし | 1 ( )   |       |
|   |                   |              | 2 ( )   |       |
| 6 | その他 2<br>( )      | 利用あり<br>利用なし | 1 ( )   |       |
|   |                   |              | 2 ( )   |       |

Q 1 - 3 屋外施設における障がい者の利用はありましたか。

1. あった

2. 把握していない

Q 1 - 4 屋外施設の利用内容をお答えください。

Q 2 へ

|   | 障がい者の利用が<br>あった施設 | 利用状況         | 実施競技・種目        | 障がい種別 |
|---|-------------------|--------------|----------------|-------|
| 1 | 屋外プール             | 利用あり<br>利用なし |                |       |
| 2 | テニスコート            | 利用あり<br>利用なし |                |       |
| 3 | その他 1<br>( )      | 利用あり<br>利用なし | 1 ( )<br>2 ( ) |       |
| 4 | その他 2<br>( )      | 利用あり<br>利用なし | 1 ( )<br>2 ( ) |       |
| 5 | その他 3<br>( )      | 利用あり<br>利用なし | 1 ( )<br>2 ( ) |       |

<障がい種別>

- |                 |             |          |
|-----------------|-------------|----------|
| 1. 肢体不自由（車椅子必要） | 4. 聴覚障がい    | 7. 精神障がい |
| 2. 肢体不自由（車椅子不要） | 5. 内部障がい    | 8. その他   |
| 3. 視覚障がい        | 6. 知的・発達障がい |          |

Q 2 貴施設は、電車・バス等の公共交通機関の最寄駅から徒歩何分くらいの場所にありますか？  
駅またはバス停のいずれかの施設から近い方を選び、およその分数をご記入ください。

( 駅／バス停 ) から徒歩

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|--|--|--|

分

Q 3 貴施設における平成26年度の利用人数について、わかる範囲でお答えください。

施設利用者

|  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

人

障がい者の施設利用者

人

Q 4 - 1 貴施設では、障がい者に対する施設利用料の減免はありますか。

1. ある

2. ない

Q 4－2 貴施設では障がい者の利用者に障害者手帳の提示を求めていますか。

1. 求めている

2. 求めていない

Q 4－3 障がい者の利用者に、手帳の提示のほかに依頼、確認していることがあればお書きください。

Q 5 貴施設では、障がい者の利用のために以下の施設や設備を整備・確保していますか。（○はいくつでも）

1. 障がい者用駐車スペース
2. 視覚障がい者用の誘導ブロック・点字入り案内表示
3. 車椅子利用者用のエレベーター
4. 障がい者トイレ（多目的トイレ）
5. 障がい者更衣室（多目的更衣室）
6. その他（ ）
7. 障がい者の利用のための施設や設備の整備・確保はしていない

Q 6 貴施設では、障がい者の施設利用の促進のために、具体的な配慮や取り組みをしていますか。

（○はいくつでも）

1. 広報媒体（ホームページ、施設のリーフレット、自治体の広報紙等）での障がい者利用に関する記載
2. 施設主催のイベントや教室（一般向け）の障がい者団体・障がい者施設に対する告知
3. 聴覚障がい者との筆談が可能な用具（ミニホワイトボード等）の設置
4. 障がい者を対象とした教室の開催
5. プールにおける障がい者専用・優先レーンの設置
6. 障がい者スポーツの専門指導員の配置
7. その他（ ）
8. 障がい者の利用の促進のために、具体的な配慮や取り組みはしていない

【指定管理者が運営している施設に対しておたずねします】

Q 7 貴施設の指定管理の仕様に記載されている、障がい者の利用に関する具体的な内容についてお答えください。（○はいくつでも）

1. 障がい者の利用への配慮
2. 障がい者が参加できるスポーツ教室・プログラムの開催
3. 障がい者の優先利用時間帯の設置（プール等）
4. 障がい者スポーツ指導員の配置
5. その他（ ）
6. 障がい者の利用に関する具体的な記載はない

【すべての施設にお尋ねします】

Q 8 貴施設における障がい者の利用に関して、支援や情報提供を受けた組織・団体があればお答えください。（〇はいくつでも）

1. 行政の障がい福祉関連部署
2. 行政のスポーツ担当部署（障がい者スポーツを除く）
3. 社会福祉協議会
4. 障がい者の当事者団体・家族会等
5. 障がい者スポーツセンター
6. 障がい福祉施設（選択肢 4 を除く）
7. 障がい者スポーツ協会
8. 障がい者スポーツ指導者組織（指導者協議会等）
9. 障がい者スポーツ団体（選択肢 6、7 を除く）
10. 一般のスポーツ団体（体育協会やその加盟団体等）
11. その他（ ）
12. 障がい者の利用に関して、支援や情報提供を受けた障がい福祉関連機関・団体はない

Q 9 2016年4月に施行される障がい者差別解消法によって、公共施設において、障がい者の利用に対する一層の配慮が求められるようになります。これを受けた対応として、貴施設では、都道府県障がい者スポーツセンター、障がい者スポーツ協会および障がい者スポーツ指導者協議会から協力や支援が得られるとすれば、具体的にどのような協力や支援を望みますか。

（〇はいくつでも）

1. 指導者を貴施設に派遣して行われる障がい者スポーツプログラム（出前教室、体験会など）
2. 施設のスタッフを対象とした障がい者の受け入れ・障がい者スポーツ導入のための講習会や研修会
3. 施設のイベントでの指導者の派遣
4. 施設のイベントでの用具の貸出
5. 施設周辺の障がい福祉関係施設や団体の紹介
6. その他（ ）
7. 協力や支援を望まない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

# 種目一覧

## ＜球技やチームスポーツ＞

|            |                       |             |                   |
|------------|-----------------------|-------------|-------------------|
| ・キャッチボール   | ・ゲートボール               | ・テニス（硬式テニス） | ・バレーボール           |
| ・ソフトボール    | ・サッカー                 | ・卓球         | ・ソフトバレーボール        |
| ・野球        | ・フットサル                | ・ドッジボール     | ・フライングディスク（フリスビー） |
| ・グラウンド・ゴルフ | ・フットベースボール（キックベースボール） | ・バスケットボール   | ・ボウリング            |
| ・ゴルフ（コース）  | ・ソフトテニス（軟式テニス）        | ・バドミントン     | ・ラグビー             |
| ・ゴルフ（練習場）  |                       |             |                   |

## ＜ロープを使うスポーツ＞

|       |       |
|-------|-------|
| ・つな引き | ・なわとび |
|-------|-------|

## ＜体操・ダンス・トレーニング＞

|                             |                           |
|-----------------------------|---------------------------|
| ・エアロビックダンス                  | ・ヨーガ                      |
| ・体操（軽い体操、ラジオ体操など）           | ・筋力トレーニング（マシントレーニング）      |
| ・ダンス（社交ダンス、フォークダンス、フラダンスなど） | ・筋力トレーニング（ダンベル・自重のトレーニング） |

## ＜歩く・走る・泳ぐ＞

|                         |                         |            |
|-------------------------|-------------------------|------------|
| ・ウォーキング（ノルディックウォーキング含む） | ・マラソン、駅伝などのロードレース       | ・アクアエクササイズ |
| ・散歩（ぶらぶら歩き）             | ・有酸素運動（エアロバイク・ランニングマシン） | ・水泳        |
| ・ジョギング・ランニング            | ・陸上競技                   | ・水中歩行      |

## ＜武道＞

|     |     |      |
|-----|-----|------|
| ・空手 | ・柔道 | ・太極拳 |
|-----|-----|------|

## ＜海・マリンスポーツ＞

|      |            |
|------|------------|
| ・海水浴 | ・スクーバダイビング |
|------|------------|

## ＜野外・アウトドアスポーツ＞

|       |         |     |     |     |        |
|-------|---------|-----|-----|-----|--------|
| ・キャンプ | ・サイクリング | ・乗馬 | ・釣り | ・登山 | ・ハイキング |
|-------|---------|-----|-----|-----|--------|

## ＜ウィンタースポーツ＞

|          |      |         |
|----------|------|---------|
| ・アイススケート | ・スキー | ・スノーボード |
|----------|------|---------|

## ＜障害者スポーツ＞

|               |              |            |
|---------------|--------------|------------|
| ・グランドソフトボール   | ・フロアバレーボール   | ・ふうせんバレー   |
| ・車いすテニス       | ・卓球バレー       | ・ブラインドサッカー |
| ・車椅子バスケットボール  | ・サウンドテーブルテニス | ・ブラインドテニス  |
| ・ゴールボール       | ・ティーボール      | ・ボッチャ      |
| ・シッティングバレーボール | ・ハンドサッカー     |            |

## ＜その他＞

|         |                             |
|---------|-----------------------------|
| ・アーチェリー | ・運動会・レクリエーション大会             |
| ・カローリング | ・その他（ ）                     |
| ・ユニカール  | ・その他（ ）                     |
| ・ペタンク   | ・この1年間にスポーツ・レクリエーションは行わなかった |

障がい者スポーツセンター 利用者簡易アンケート

担当

|                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                             |                       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 【性別】                                                                                                                                                                                                                                                                 | <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                             |                       |
| 【年代】                                                                                                                                                                                                                                                                 | <input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代～ |                                                                                                                                                                                                                                             |                       |
| 【障がいの種類】                                                                                                                                                                                                                                                             | <input type="checkbox"/> 肢体不自由(車椅子必要) <input type="checkbox"/> 肢体不自由(車椅子不要) <input type="checkbox"/> 視覚障がい                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                             |                       |
|                                                                                                                                                                                                                                                                      | <input type="checkbox"/> 聴覚障がい <input type="checkbox"/> 内部障がい <input type="checkbox"/> 知的・発達障がい <input type="checkbox"/> 精神障がい                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                             |                       |
| 【等級】 <small>(わかる範囲で)</small>                                                                                                                                                                                                                                         | (障がい名) _____ 級                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                             |                       |
| 【自宅からのアクセス】                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                             | 【日頃、誰と来ていますか？】 <small>(複数回答)</small>                                                                                                                                                                                                        |                       |
| _____ 分<br>【移動手段】 <small>(複数回答)</small><br><input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> バス<br><input type="checkbox"/> 自家用車 <input type="checkbox"/> タクシー<br><input type="checkbox"/> 施設等の車 <input type="checkbox"/> その他(      ) |                                                                                                                                                                                                             | <input type="checkbox"/> ひとり <input type="checkbox"/> 福祉・医療施設の職員 <input type="checkbox"/> 介護ヘルパー<br><input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> 学校の教職員<br><input type="checkbox"/> 職場・学校・施設の同僚や友人<br><input type="checkbox"/> その他: |                       |
| 【利用歴】                                                                                                                                                                                                                                                                | (西暦) _____ 年から                                                                                                                                                                                              | 【利用頻度】                                                                                                                                                                                                                                      | ( 週 ・ 月 ・ 年 ) _____ 回 |
| 【当施設で行っているスポーツの種類を教えてください】 <small>(※4種目以上ある場合は主な3種目)</small>                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                             |                       |
| 1 _____ 2 _____ 3 _____                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                             |                       |
| 【当施設を利用することになったきっかけを教えてください】                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                             |                       |
| <br><br><br>                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                             |                       |
| 【当施設の他に、日常的に運動・スポーツに利用している公共スポーツ施設や学校施設はありますか？】                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                             |                       |
| <input type="checkbox"/> ある ↓ <input type="checkbox"/> ない ↓                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                             |                       |
| 【どの施設を利用していますか？】                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                             | 【利用しない理由がありましたら具体的に教えてください】                                                                                                                                                                                                                 |                       |
| <br><br><br>                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                             | 【また、改善されれば利用を考える点、改善点を教えてください】                                                                                                                                                                                                              |                       |
| 【その施設で何をしていますか？】                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                             | <br><br><br>                                                                                                                                                                                                                                |                       |
| <br><br><br>                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                             |                       |
| 【当施設と比べて利用しにくい点があれば教えてください】                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                             |                       |
| <br><br><br>                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                             |                       |

～ご協力ありがとうございました～

## 障害者スポーツ指導者に関する調査

日本障がい者スポーツ協会では、障がいのある方が、身近な地域で運動・スポーツに親しむ機会の場を増やすための調査おこなっています。この調査の一環で、障害者スポーツ指導員協議会の指導員の方を対象に、アンケートを実施することになりました。

アンケートの結果は、統計的に処理され、回答者（施設名）個人が特定されることはありません。調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

調査主体団体：（公財）日本障がい者スポーツ協会

調査に関するお問い合わせ

公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会

スポーツ推進部 スポーツ推進課 小島・屋敷

TEL：03（5695）5420

Q1 性別について伺います。（○は1つ）

1. 女性

2. 男性

Q2 年齢について伺います。（○は1つ）

1. 20歳代

3. 40歳代

5. 60歳代

2. 30歳代

4. 50歳代

6. 70歳代

Q3 資格種別について伺います。（○はいくつでも）

1. 初級指導員

4. スポーツコーチ

2. 中級指導員

5. スポーツトレーナー

3. 上級指導員

Q4 過去1年間の指導回数はどのくらいですか。

（ 年・月・週 ）に 

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|--|--|--|

 回

Q5 障がい者に対して、日常的※にスポーツを指導する場所はどこですか。（○はいくつでも）

※日常的：競技大会やイベント、全国大会に向けた練習会など、単発で不定期な活動は含めません。

1. 公共スポーツ施設（公民館を含む）

3. 障がい者スポーツセンター

2. 学校体育施設

4. 障がい福祉施設（選択肢3を除く）

5. その他（ ）

Q6へ

Q8へ



【Q5で「1. 公共スポーツ施設」または「2. 学校体育施設」と回答した方にお尋ねします】

Q6 公共スポーツ施設または学校体育施設で指導している運動・スポーツ種目と障がい種別についてお答えください。

| 指導種目（主な3種目まで） | 障がい種別（○はいくつでも）                                                                           |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1.            | 1. 肢体不自由（車椅子必要） 5. 内部障がい<br>2. 肢体不自由（車椅子不要） 6. 知的・発達障がい<br>3. 視覚障がい 7. 精神障がい<br>4. 聴覚障がい |
| 2.            | 1. 肢体不自由（車椅子必要） 5. 内部障がい<br>2. 肢体不自由（車椅子不要） 6. 知的・発達障がい<br>3. 視覚障がい 7. 精神障がい<br>4. 聴覚障がい |
| 3.            | 1. 肢体不自由（車椅子必要） 5. 内部障がい<br>2. 肢体不自由（車椅子不要） 6. 知的・発達障がい<br>3. 視覚障がい 7. 精神障がい<br>4. 聴覚障がい |

Q7 障がい者スポーツの活動に、公共スポーツ施設や学校体育施設を利用している理由をお答えください。（○はいくつでも）

|                                        |                        |
|----------------------------------------|------------------------|
| 1. 近くにある                               | 6. 障がい者用更衣室（多目的更衣室）がある |
| 2. 施設のスタッフが障がい者に理解がある                  | 7. 障がい者用トイレ（多目的トイレ）がある |
| 3. 障がい者向けの教室がある                        | 8. エレベーターがある           |
| 4. 障がい者の優先利用の時間帯がある<br>（プール等）          | 9. スロープや手すりがある         |
| 5. 聴覚障がい者との筆談が可能な用具（ミニ<br>ホワイトボード等）がある | 10. 点字ブロックや点字の案内表示がある  |
|                                        | 11. 障がい者用の駐車スペースがある    |
|                                        | 12. その他（ ）             |

【全員にお尋ねします】

Q8 障がいのある人が、地域の身近な公共スポーツ施設や学校体育施設を利用して、日常的にスポーツをするようになるためには、特にどの点を優先的に改善する必要があると考えますか。（○は3つまで）

|                                        |                        |
|----------------------------------------|------------------------|
| 1. 施設のスタッフの障がい者への理解促進                  | 7. 障がい者用トイレ（多目的トイレ）の設置 |
| 2. 施設利用者（健常者）の障がい者への理解促進               | 8. エレベーターの設置           |
| 3. 障がい者向けの教室の開催                        | 9. スロープや手すりの設置         |
| 4. 障がい者の優先利用時間帯の設置（プール等）               | 10. 点字ブロックや点字の案内表示の設置  |
| 5. 聴覚障がい者との筆談が可能な用具（ミニ<br>ホワイトボード等）の準備 | 11. 障がい者用の駐車スペースの設置    |
| 6. 障がい者更衣室（多目的更衣室）の設置                  | 12. その他（ ）             |

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

平成27年度 国庫補助事業

「障がい者のスポーツ環境整備に関する  
ガイドライン策定のための調査研究事業」  
(2年間のまとめ)

2016年3月31日 発行

発行 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会  
印刷 日本印刷株式会社

